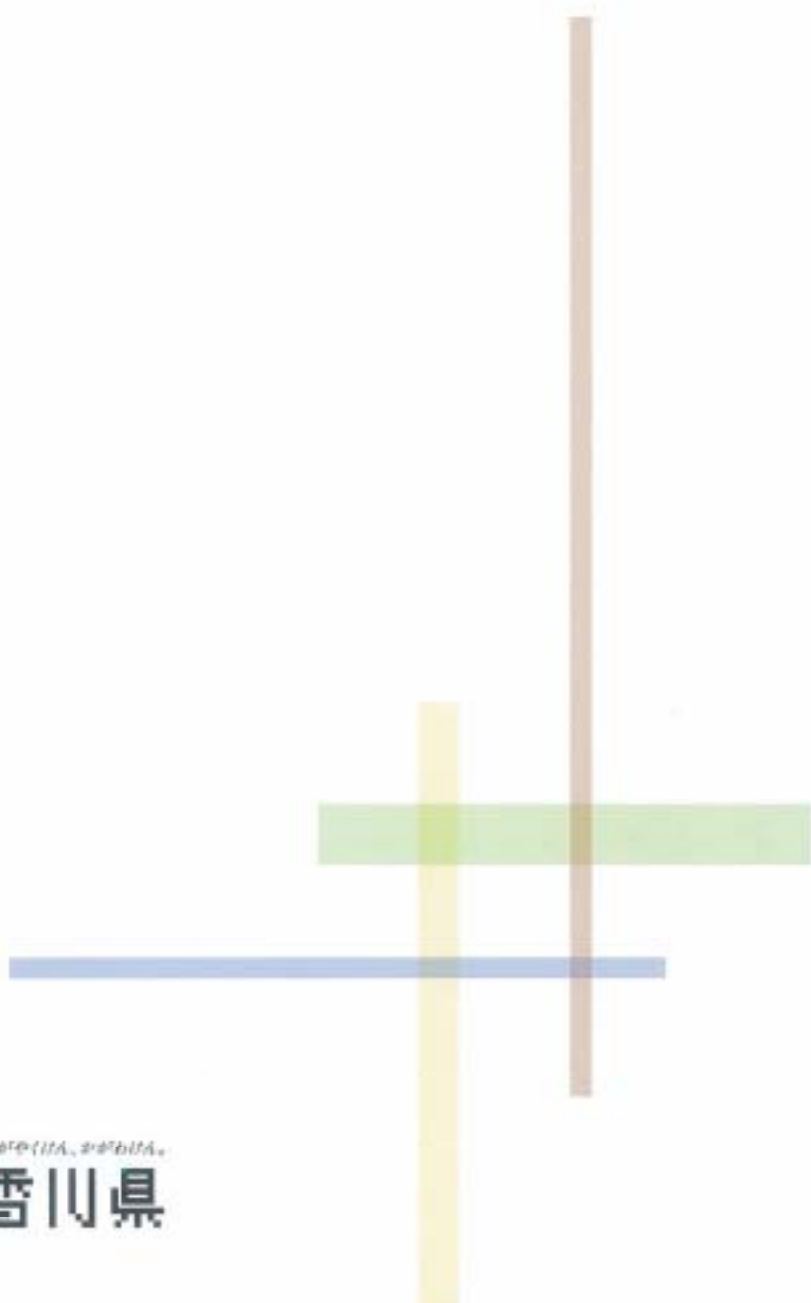




美しい香川づくり

香川県景観形成指針

香川県



“あたたかさ
と歴史・風土が育む、
みどりと融和した美しい香川を目指して”



香川県は、「玉藻よし讃岐の国は国がらが見れども飽かぬ」と万葉集にも詠まれたように、白砂青松と多島美を誇る瀬戸内海をはじめ、緑の山々が連なる讃岐山脈、大小のため池が点在する讃岐平野など、豊かな自然景観に恵まれています。

これらの自然と、栗林公園、金刀比羅宮、丸亀城、四国八十八箇所霊場などの歴史的文化資産や、人々の生活が一体となり、香川の特徴ある景観が形づくられております。

こうした美しい景観は、県民共通のかけがえのない資産であり、地域の魅力向上や、活性化、観光振興など、大きな役割を担っております。

香川らしい景観を実現するためには、将来にわたり、県民一人ひとりが、「まもる」、「ととのえる」、「そだてる」、「つくる」といった行動により、景観づくりに積極的に取り組んでいく必要があります。また、県民、事業者、行政の連携と協働が重要であります。

県では、香川県新世紀基本構想「みどり・うるおい・にぎわい創造プラン」を踏まえ、香川県の特性に応じた景観形成の基本的な考え方を示した「香川県景観形成指針」を策定しました。

今後、この指針に沿って、美しい香川づくりに取り組んでまいりますので、皆様の一層のご理解とご協力をお願いいたします。

平成 19 年 3 月

香川県知事 真 鍋 武 紀

- 目 次 -

第1章 香川県景観形成指針の策定に当たって

1. 景観形成指針策定の背景.....	1
2. 景観づくりの必要性和効果.....	1
3. 景観とは.....	2
4. 景観形成指針の役割.....	2
5. 景観形成指針の位置づけ.....	3

第2章 香川県の景観特性

1. 景観資源の分類.....	4
2. 分類別の景観特性.....	5
3. 香川らしい景観特性.....	14

第3章 景観づくりの課題

1. 香川らしい景観の課題.....	18
2. 分類別の景観の課題.....	18

第4章 景観づくりの目標

1. 景観づくりの目標.....	24
2. 景観づくりの指針.....	25

第5章 景観づくりの取組み

1. 景観づくり推進の基本的な考え方.....	28
2. 景観づくりの取組み.....	30
3. 景観づくりの主体と役割.....	37

第6章 景観づくりの進め方

1. 計画による景観づくり.....	40
2. 住民主体の景観づくり.....	43
3. 事業による景観づくり.....	44

香川県景観形成指針 全体構成

第1章

香川県景観形成指針の策定に当たって

策定の背景 必要性と効果 景観とは 指針の役割 指針の位置づけ

第2章

香川県の景観特性

地域特有の景観資源を抽出し、香川県の景観特性をまとめています。

1.景観資源の分類

2.分類別の景観特性

自然の景観

歴史的な景観

都市・集落の景観

文化的な景観

3.香川らしい景観特性

香川らしい景観
とは

第3章

景観づくりの課題

景観特性を踏まえ、香川県らしい景観の課題と分類別の景観の課題を整理しています。

1.香川らしい景観の課題

香川らしい景観
の課題

2.分類別の景観の課題

自然の景観

歴史的な景観

都市・集落の景観

文化的な景観

第4章

景観づくりの目標

良好な景観づくりに取り組んでいくための目標と指針を定めています。

1.景観づくりの目標

2.景観づくりの指針

香川らしい景観
づくりの指針

自然の景観

歴史的な景観

都市・集落の景観

文化的な景観



第5章

景観づくりの取組み

良好な景観づくりの実現に向けた取組み方針と、住民・事業所・市町・県ごとの取組みの方向性を示しています。

1. 景観づくり推進の基本的な考え方

2. 景観づくりの取組み

香川らしい景観づくりの
取組み

自然の景観

歴史的な景観

都市・集落の景観

文化的な景観

3. 景観づくりの主体と役割

第6章

景観づくりの進め方

景観づくりの進め方を、景観計画策定・住民主体・事業の3つの例で示しています。

1. 景観計画策定

2. 住民主体

3. 事業

資料編（別冊）

県内でのこれまでの主な取組み

- ・景観づくり・まちづくりの取組み
- ・香川フィルムコミッション事業

具体的な取組みイメージ

計画による景観づくり

- ・景観法の概要
- ・景観計画と関連法
- ・景観計画策定
- ・ソフト面の支援モデル
- ・景観法活用方策

住民主体の景観づくり

- ・取組み事例
- ・表彰制度等

事業による景観づくり

- ・分野別の景観形成ガイドライン
- ・公共事業の配慮事項
- ・活用できる法制度
- ・活用できる補助事業

景観づくりに
関する Q&A

第1章 香川県景観形成指針の策定に当たって

景観法の制定に伴い、香川県の特性に応じた景観形成の基本的な考えを示すために、「香川県景観形成指針」を策定することになりました。本章では、指針策定の背景、景観づくりの必要性と効果、本指針の役割などについて説明します。

1. 景観形成指針策定の背景

我が国は、海に囲まれた水辺環境、緑豊かな山間地の集落、歴史的な建造物で構成される街並みなど、良好な景観を育てていく上で非常に恵まれた環境にあります。近年では、平成15年に「美しい国づくり政策大綱¹」が策定され、平成16年に「景観法²」が制定されるなど、全国的に景観形成に対する関心が高まっています。

香川県は、水と緑豊かな美しい自然景観に恵まれており、地域の歴史や文化に根ざした街並み、建築物等が各地に残っています。これらの資源を県民共通の資産として整備・保全するとともに、良好な景観を形成していくことが必要です。

このため、香川県では「香川県景観形成指針」を策定し、景観形成の基本的な考えを示すことによって景観行政の主体となる市町の取組みを支援するとともに、これら取組みに対する住民の理解を深めることにより美しい香川づくりを進めていきます。

1 美しい国づくり政策大綱の参照 HP(国土交通省 HP より) : http://www.mlit.go.jp/keikan/taiko_text/taikou.html

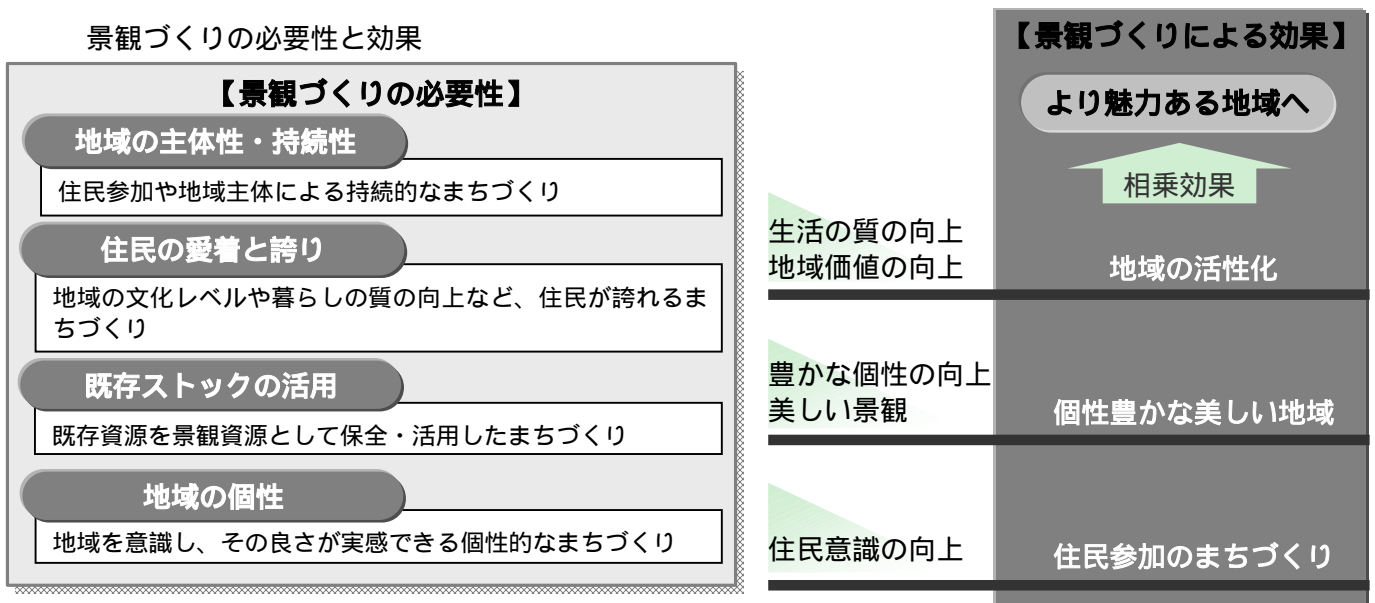
2 景観法についての参照 HP(国土交通省 HP より) : <http://www.mlit.go.jp/crd/city/plan/townscape/keikan/index.htm>

2. 景観づくりの必要性と効果

景観づくりを通して、まちづくりへの住民の参加意識を高揚するとともに、地域に対する住民の愛着と誇りを醸成し、個性ある地域づくりを行っていくことが必要です。

美しい景観づくりは、地域の魅力・活力の向上に資するとともに、観光振興による経済効果や、地域間交流の促進に寄与するなど、魅力ある地域づくりにも効果があります。

景観づくりの必要性と効果



3．景観とは

「景観」とは、「景色」として視覚的に写る物的環境であるとともに、「観る」「観られる」という人の行為でもあります。地域に住んでいる人々の主体的な取り組みや活動によって生まれるものです。

次の5つの要素が景観を形成しています。

- ・ 住民や来訪者の目に「景色」として 視覚的に写る物的なもの
- ・ 単体で形成するものではなく、 周辺との関係によって形成されるもの
- ・ 日常生活や身近な地域から、 住民自ら創っていくもの
- ・ 地域の歴史や原風景など、 地域の人々が これまでに培ってきたもの
- ・ 地域の魅力を向上させるという住民の共通の意識によって まちづくりを促進するもの

4．景観形成指針の役割

本指針は、香川県の景観特性を踏まえ、香川の景観づくりの方向性を示すとともに、景観づくりの主役となる住民や事業者との連携・協働による、美しい景観づくりを推進していくための基本的な考え方を示すものです。

また、市町が景観行政団体として主体的に景観行政に取り組んでいくための指針となるものです。

県は、市町の行政区域を越えるような広域的な景観づくりについて、市町間の調整を行い、市町と連携したうえで景観形成の取組みを推進します。

景観形成指針の役割

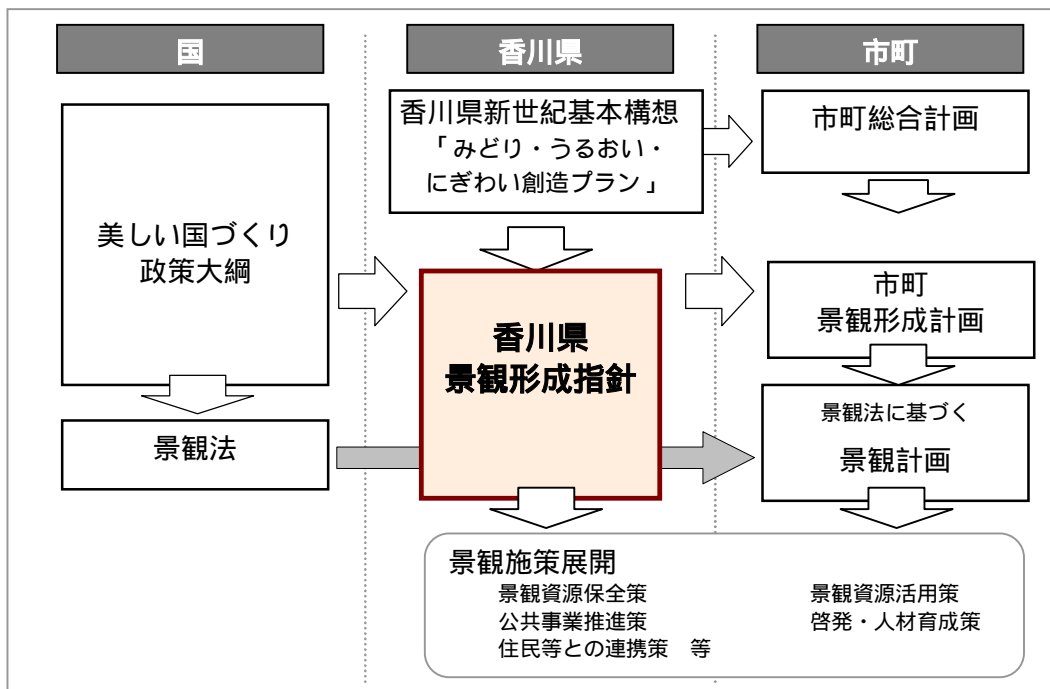
良好な景観形成の方針を定め、香川らしい景観づくりを目指すもの
県民の景観づくりに対する理解を深めるもの
住民・事業者・市町・県の役割を定め、連携・協働による景観づくりを進めるためのもの
市町が行う景観計画の策定や景観づくりの指針となるもの
複数の景観行政団体等の広域的な景観づくりの連携・調和を図るもの

5. 景観形成指針の位置づけ

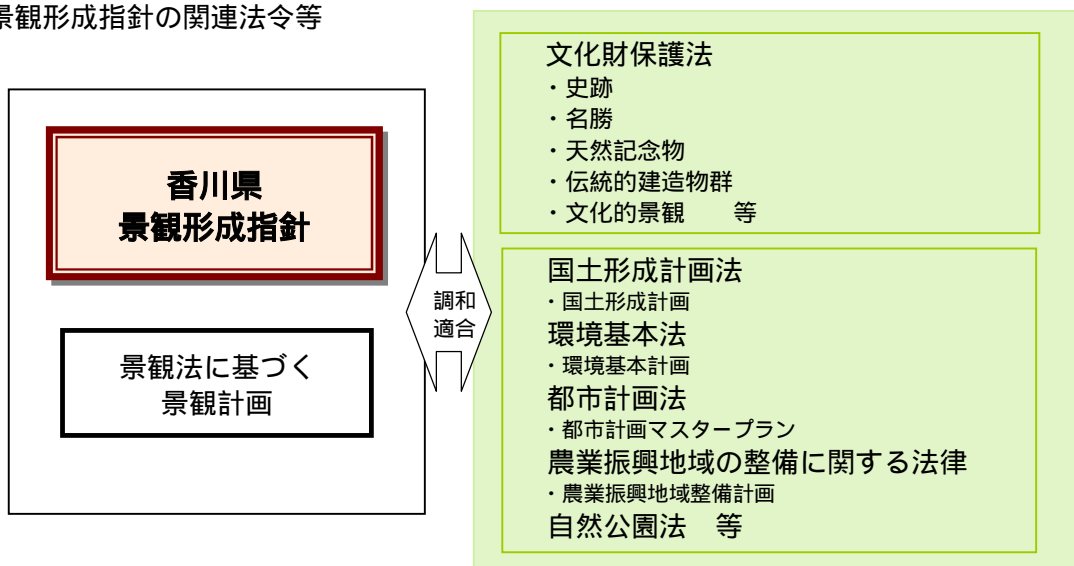
本指針は、香川県新世紀基本構想「みどり・うるおい・にぎわい創造プラン」³を踏まえ、県内の地域特性を活かした景観づくりの方向性を示すとともに、市町の景観行政を支援するものです。

指針の策定に当たっては、文化財保護法その他の法令に基づく計画との調和・適合を図ることとします。

香川県景観形成指針の位置づけ



香川県景観形成指針の関連法令等



³ 香川県新世紀基本構想「みどり・うるおい・にぎわい創造プラン」についての参照HP(香川県HPより) :

<http://www.pref.kagawa.jp/seisaku/sinseiki/index2.htm>

第2章 香川県の景観特性

香川県の景観特性を把握するために、本章では、香川県の景観資源を「自然」、「歴史」、「都市・集落」、「文化」の4つの観点から分類し、それぞれの特性と現状について、県内にある多くの景観資源の中から特徴的なものを整理しています。

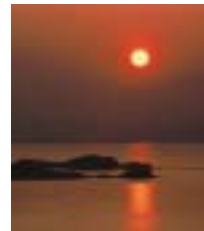
1. 景観資源の分類

自然の景観

山なみ、里山、島なみなど、香川県の地形や気候の中から自然に生成されてきた、山や川、草、木などの天然物の景観資源。



寒霞溪



土庄町夕陽ヶ丘より

歴史的な景観

四国八十八箇所霊場をはじめとする寺社、史跡・名勝など、長い歴史の中で醸成された景観資源や、地域の由来を感じさせる景観資源。



大窪寺



笠島地区

都市・集落の景観

都市、農地、農山漁村集落など、人の営みによって生成された景観資源。なかでも、人工的な要素が強いものを都市の景観と捉え、農山漁村・島嶼部など自然のなかで生成されてきたものを集落の景観と捉える。



サンポート高松



防風石垣「オオテ」

文化的な景観

風土に根ざして営まれてきた人の生活や生業の在り方を表す景観や、自然と共生するなかで育んできた原風景。また、伝統的な祭りや伝統芸能など、人の文化的活動によって生まれる景観。



中山千枚田



三味線餅つき

2. 分類別の景観特性

自然の景観

香川県の自然

地形

東西に細長い半月形の県土。
南に讃岐山脈。北に緩やかに傾斜して広がる讃岐平野。
北には、小豆島など大小110余りの島々が浮かぶ瀬戸内海を臨む。
平野部には、讃岐富士といわれる飯野山などの円錐形の山や、屋島・五色台に代表される台形状の丘陵が点在している。

気候

気候は、年間を通じて比較的温暖で降水量は少ない。
河川は流路延長が短く、水量に乏しい。

讃岐山脈の自然景観



讃岐山脈の山なみ

讃岐山脈の山なみ

- ・大川山（まんのう町） ・竜王山（まんのう町） など
- ・香川県南部には、標高 1,000m級の讃岐山脈が連なり、平野部から望見することができる。



柏原溪谷

讃岐山脈の森林・溪谷

- ・柏原溪谷（綾川町）・大滝山のブナ原生林（高松市） など
- ・柏原溪谷などでは、豊かな清流と樹木や花が織りなす四季折々の風景を楽しむことができる。
- ・讃岐山脈には、貴重なブナ原生林が残っている。

讃岐平野の自然景観



宮池から見る飯野山

里山

- ・飯野山（丸亀市） ・白山（三木町） など
- ・讃岐平野には、周辺の市街地や集落の背景として、飯野山に代表される円錐形の山が点在している。



屋島

台形状の丘陵

- ・屋島（高松市） ・五色台（高松市・坂出市） など
- ・屋島や五色台、象頭山に代表される台形状の丘陵は、個性的で貴重な景観資源であるとともに、瀬戸内海や讃岐平野を眺望できるビューポイントになっている。



土器川

河川・出水

- ・土器川（丸亀市） ・二頭出水（善通寺市） など
- ・土器川や二頭出水などは、讃岐平野を潤す貴重な水資源であり、その地域の特徴的な景観資源となっている。

瀬戸内海の自然景観



津田の松原



多島美

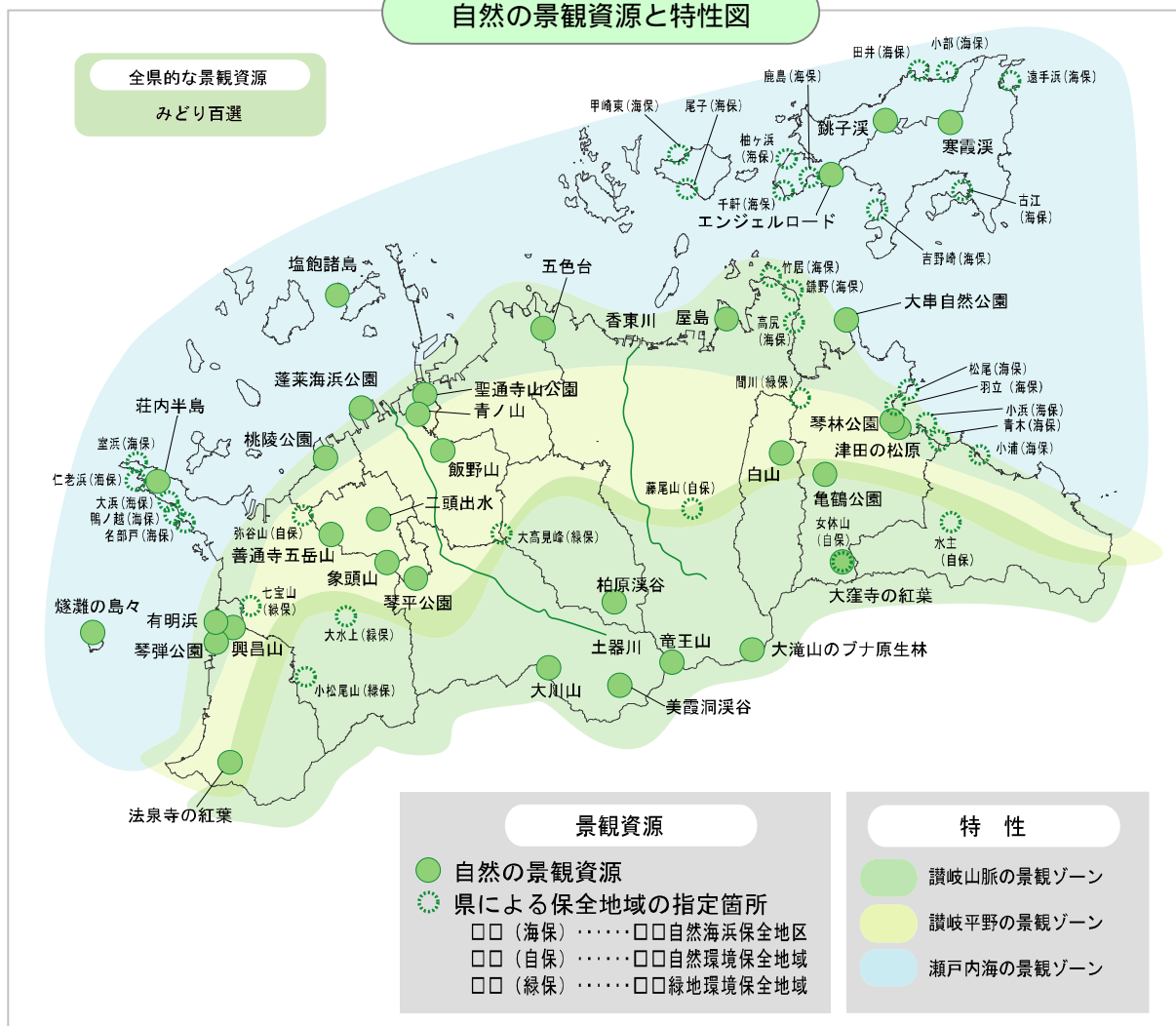
自然海岸

- ・津田の松原（さぬき市） ・荘内半島（三豊市） など
- ・市街地や集落に近接して白砂青松の自然海岸が形成されている。
- ・荘内半島などでは、自然海浜保全地区などが指定されており、海とみどりが調和した自然海岸が形成されている。

瀬戸内海の島なみ

- ・塩飽諸島（丸亀市） ・寒霞渓（小豆島町） など
- ・塩飽諸島をはじめ、瀬戸内海に浮かぶ大小の島々が多島美を形成している。
- ・寒霞渓などは、島固有の自然景観が形成されている。

自然の景観資源と特性図



歴史的な景観

香川県の歴史

温暖な気候や瀬戸内海に面する地理的条件などから、香川県は、古くから開け、多くの史跡・名勝が残されている。

空海が修行したといわれる聖地への巡拝が行われるようになり、その後、四国八十八箇所霊場の札所を巡る遍路が定着した。

塩飽水軍は、古くから廻船業と舟大工で日本中に知られており、安土・桃山時代から江戸時代中期にかけて繁栄した。

江戸時代には多くの燈籠が備えられるなど、金毘羅街道は、土佐・伊予と讃岐をつなぐ主要街道として栄えたほか、丸亀や多度津の港も金毘羅参りの参道口として栄えた。

地域の産業とともに繁栄した古くからの街並みが県土に点在しており、往時を偲ぶことができる。

史跡・名勝の歴史景観



栗林公園

史跡・名勝

- ・栗林公園（高松市） ・丸亀城跡（丸亀市） など
- ・栗林公園や丸亀城跡など、重要な史跡や名勝が点在しており、貴重な観光資源として保全されている。

寺社の歴史景観



普通寺

四国八十八箇所霊場をはじめとする寺社

- ・善通寺（善通寺市） ・本山寺（三豊市） など
- ・四国八十八箇所霊場などの寺社が各地に点在しており、貴重な歴史的建造物として保全されている。

街並みの歴史景観



讃州井筒屋敷

歴史的な街並み

- ・引田地区（東かがわ市） ・笠島地区（丸亀市） など
- ・引田地区の門前町などでは、往時の面影を残す家並みが保存されており、古くからの街並みが継承されている。
- ・塩飽水軍の本拠地であった本島笠島地区は、昭和60年に重要伝統的建造物群保存地区に選定されている。

歴史街道沿いの景観



仏生山歴史街道

街道

- ・ 仏生山歴史街道（高松市）・金毘羅街道（琴平町他）など
- ・ 仏生山歴史街道や金毘羅街道など、城下町や門前町を結ぶ街道は、燈籠や参道などの江戸時代の面影を多く残し、今日まで継承されている。
- ・ 四国八十八箇所霊場を結ぶ沿道は、札所と札所をつなぐ遍路道として、独特の景色を形作っている。

歴史的な景観資源と特性図



都市・集落の景観

香川県の都市・集落

都市部の概要

四国における陸上・海上交通の要衝。

臨海部を中心に都市的な土地利用。

瀬戸大橋、高松空港、四国横断道などの高速交通体系の整備によって開発動向が内陸部へ拡散。

集落部の概要

豊かな自然とともに、先人達が築き守ってきた農地・田園風景が讃岐平野に広く分布。

県全域に多くのため池が点在。

条里制によって形成された集落が点在。

島嶼部では、漁村や塩飽水軍の本拠地など、島独自の歴史にちなんだ集落が守り受け継がれてきた。

近年、農業の衰退と農業後継者の不足によって、耕作放棄された農地が目立つ。

都市の景観



サンポート高松

都市のランドマーク

- ・サンポート高松（高松市） ・瀬戸大橋（坂出市）など
- ・サンポート高松や瀬戸大橋などの人工建造物は、香川県や地域を象徴するランドマークとして、都市的な景観要素の役割を担っている。



高松市中央通り

市街地

- ・中央通り（高松市） ・丸亀町商店街（高松市）など
- ・高松市中央通りなど、まちの顔となるシンボルロードは、街並みと緑あふれる市街地景観を形成している。
- ・商業地においては、高松市丸亀町の再開発など、活性化に向けた取組みがみられる。



新宇多津都市

住宅地

- ・新宇多津都市（宇多津町）・太田第二地区（高松市）など
- ・宇多津町や高松市太田地区などでは、土地区画整理事業により、ゆとりある住環境が創出され、良好な住宅地景観が形成されている。



番の州工業地帯

工業地

- ・番の州工業地帯（坂出市） など
- ・坂出市、丸亀市、多度津町などの瀬戸内海沿岸の工業地は、活力ある景観が形成されている。



レインボーロード

沿道

- ・レインボーロード（高松市）・中央村黒線（観音寺市）など
- ・レインボーロードなどの幹線道路沿道では、商業施設や集合住宅の建ち並んだ街並みが形成されている。



高松市中央公園

公園・緑地

- ・高松市中央公園（高松市） など
- ・市街地にある都市公園や公共の緑地は、緑あふれる空間を創出するとともに、都市における貴重な景観資源となっている。

農山漁村の景観



オリーブ畑

農地

- ・小豆島のオリーブ畑（土庄町・小豆島町）・讃岐平野の田園など
- ・小豆島のオリーブ畑や荘内半島の花畑などは、農山村の特徴的な景観資源となっている。
- ・讃岐平野に広がる農地は、ため池や出水と一体となった田園風景を形成している。

農山漁村集落

- ・漁村集落（観音寺市・箕浦漁港）・農村集落（丸亀市・桃畑） など
- ・瀬戸内海に面する漁村集落や県内陸部に点在する農山村集落には、地域の生活や生業と密着した固有の街並みが残されている。

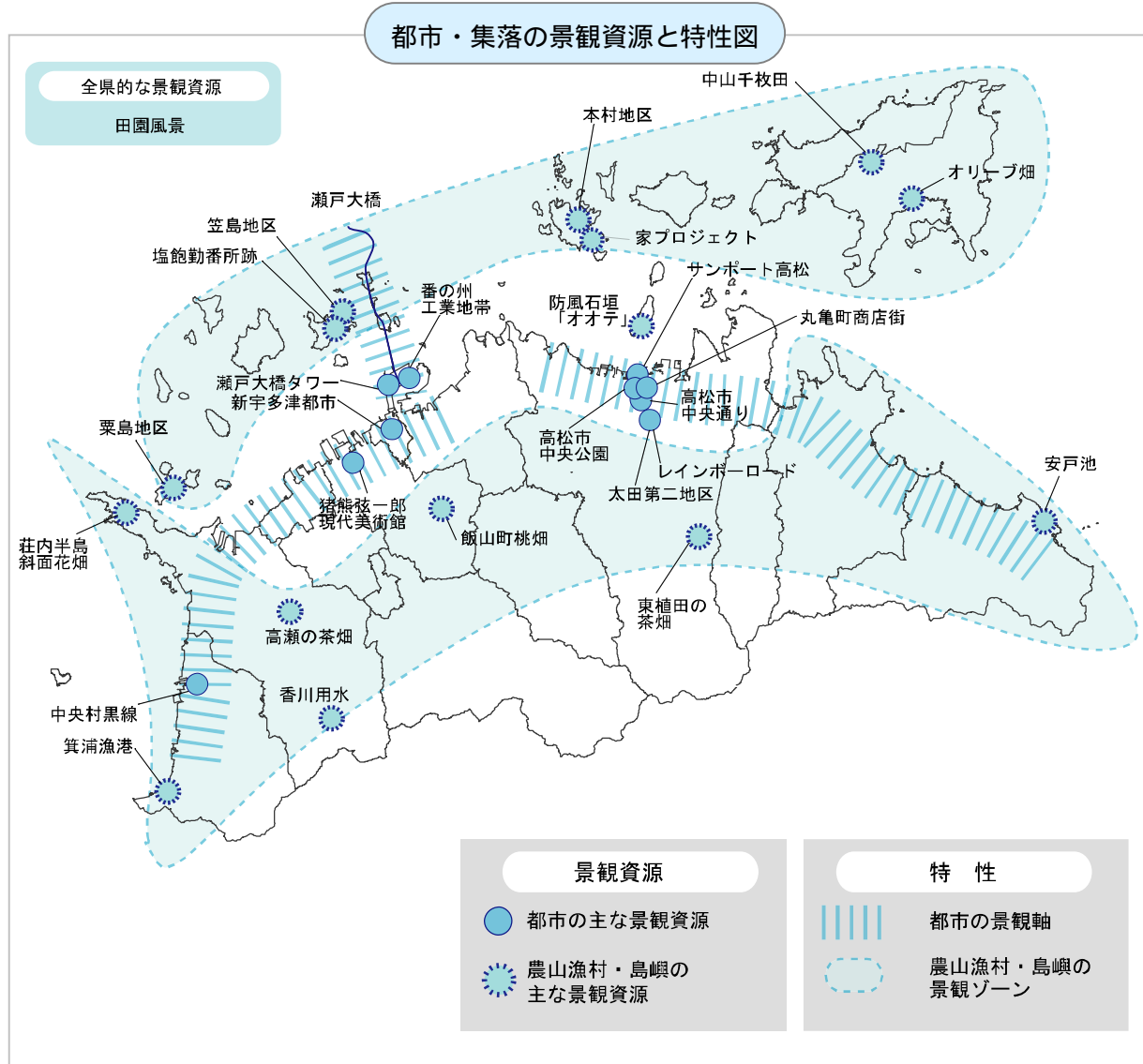
島嶼部の景観



本村地区の街並み

島嶼部の集落

- ・本村地区（直島町） ・高見島（多度津町） など
- ・直島の本村地区などでは、地域住民によって集落が維持され、島独自の街並みが残されている。



文化的な景観

香川県の文化

中世に仏教が盛んであったことを反映して、仏教文化関係に優れた景観資源が多い。農耕や漁労、地域固有の伝統工芸など、生活の中から生まれた産業が受け継がれている。降雨が少なく長大な河川がないため、数多くのため池が築造された。農業の豊作を祝う祭りなど、地域特有の祭礼が各地に残っている。うどん、そうめん、オリーブなどは、香川県特有の食文化である。



善通寺五重塔とお遍路



中山千枚田



満濃池



ちょうさ祭り



旧金毘羅大芝居

信仰上の活動から生まれた文化的な景観

- ・四国八十八箇所霊場の遍路・金刀比羅宮参拝（琴平町）など
- ・四国八十八箇所霊場の遍路などは、信仰上の活動から生まれた文化的な景観であり、地域の文化を伝える貴重な景観資源である。

生活から生まれた文化的な景観

- ・中山千枚田（小豆島町） ・はまちの養殖（東かがわ市）など
- ・中山千枚田の棚田などは、地域の生活から生まれた文化的な景観であり、次世代に継承すべき地域特有の資源である。
- ・小豆島町内海地区の酒造・醤油蔵が立ち並ぶ風景などは、地場産業を継承する文化的な景観である。

風土や歴史性から生まれた文化的な景観

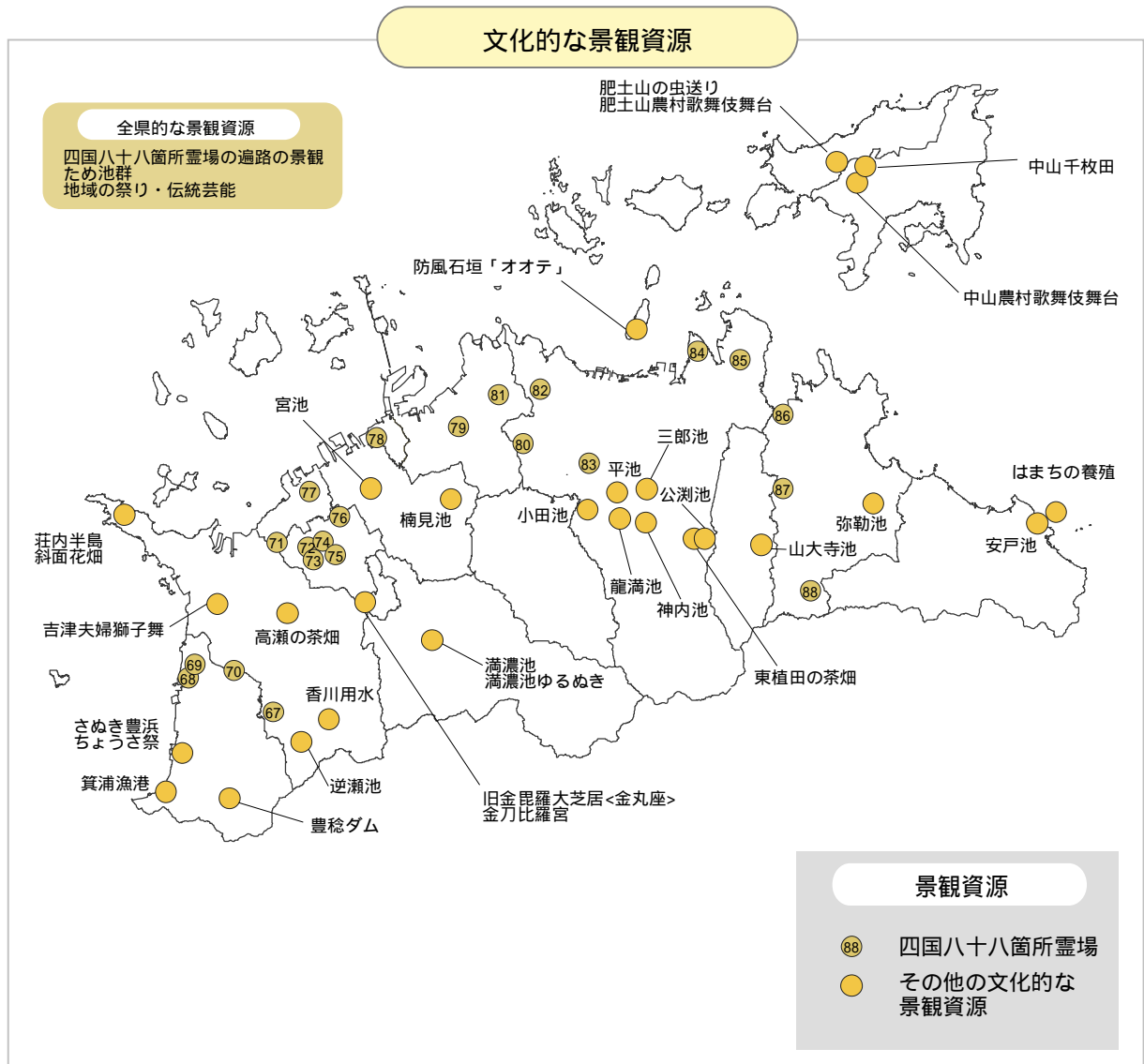
- ・満濃池（まんのう町） ・三郎池（高松市） など
- ・水資源に乏しい風土であるため、県内には14,000を超えるため池が造られ、各地のため池は、人々の生活が風土と密着して営まれてきたことを伝える景観となっている。

伝統的な祭り

- ・ちょうさ祭り（観音寺市・坂出市）・吉津夫婦獅子舞（三豊市）など
- ・ちょうさ祭りなどの伝統的な祭りは、住民の参加によって受け継がれてきた地域固有の文化的な景観である。

伝統芸能

- ・旧金毘羅大芝居（琴平町）・肥土山農村歌舞伎舞台（土庄町）など
- ・歌舞伎などの伝統芸能は、伝統ある文化的な景観であり、旧金毘羅大芝居〈金丸座〉などそれらに由来する施設とともに、その地域の代表的な景観を形成している。



3. 香川らしい景観特性

香川らしい景観

分類別の景観特性を踏まえ、香川らしい景観特性について整理します。

香川らしい景観とは何か

- ・面積が小さく変化に富んだ県域のなかで、里山に代表される自然景観資源が、讃岐山脈から瀬戸内海まで広く分布している。
- ・平野部には、田園風景や市街地などの都市・集落の景観資源が広がり、そのなかに寺社や史跡などの歴史的な景観資源が点在している。
- ・様々な景観資源が近接し、複合的に混じり合うことによって、香川らしい景観が形成されている。

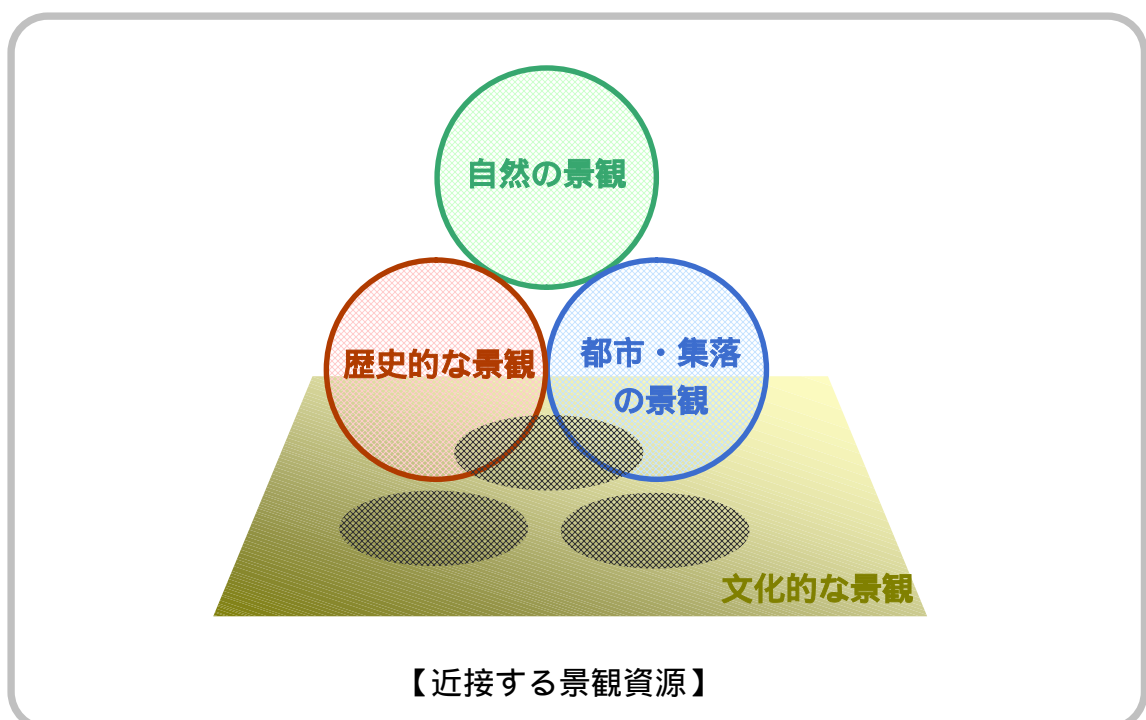
香川らしい景観特性は・・・

歴史・文化の息づくまちが、山水や田園と織りなす趣のある風景



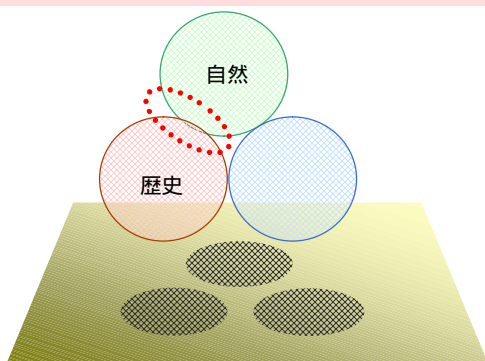
金刀比羅宮から見た眺望

香川らしい景観特性の概念図



自然と歴史が共存した景観

自然の景観
歴史的な景観



史跡・名勝や寺社、歴史的な街並みや歴史街道などが、変化に富んだ自然の地形や植生と共存して立地していることにより、香川らしい深みのある景観を形成しています。

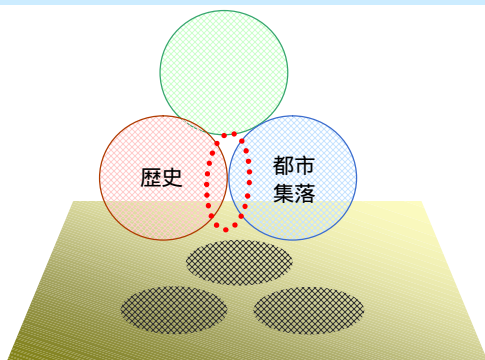
- 点在する歴史的な寺社が近景に、山の緑が遠景にある景観
- 歴史的な街道を近景にして、香川県特有の里山がある景観
- 古くから残る漁村集落の街並みと、瀬戸内海の海が共存する景観



象頭山の中腹に見える金刀比羅宮の景観

歴史と都市・集落が近在した景観

歴史的な景観
都市・集落の景観



古くから変わらず今に残る史跡・名勝、寺社などが、絶え間ない人々の活動により生み出され変化してきた都市・集落と近在した景観を形成しています。

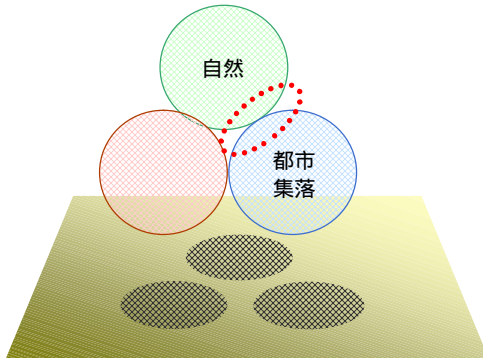
- 市街地の広がりや、城跡などの歴史的空間が近在した景観
- 農山漁村集落に、古くから残る歴史的建造物が近在した特徴的な地域景観
- 迫力ある瀬戸大橋を背景に、伝統的建造物群保存地区が悠久のときを経て佇む景観
- 門前町や城下町に現代の人々の生活が根付いている景観



集落の中に佇む本山寺の景観

都市・集落と自然が近接した景観

都市・集落の景観
自然の景観



山、市街地、海が近接していることから、多くの都市・集落は、自然を背景とした景観を形作っています。また、都市や集落内に散在する緑地や公園の緑は、人々の生活に潤いを与える重要な景観の要素となっています。

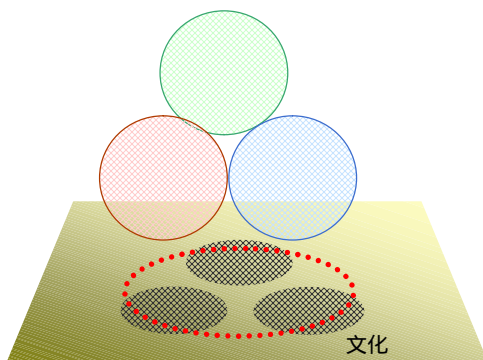
- 市街地の広がりの中景に、遠景に山の緑がある景観
- 集落などの農村景観の背景に、香川県特有の里山がある景観
- 工業地の広がりとは瀬戸内海の海が近接した活力ある景観



高松市街地の遠景に屋島の緑がある景観

文化と自然、歴史、都市・集落が共栄した景観

文化的な景観
自然等の景観



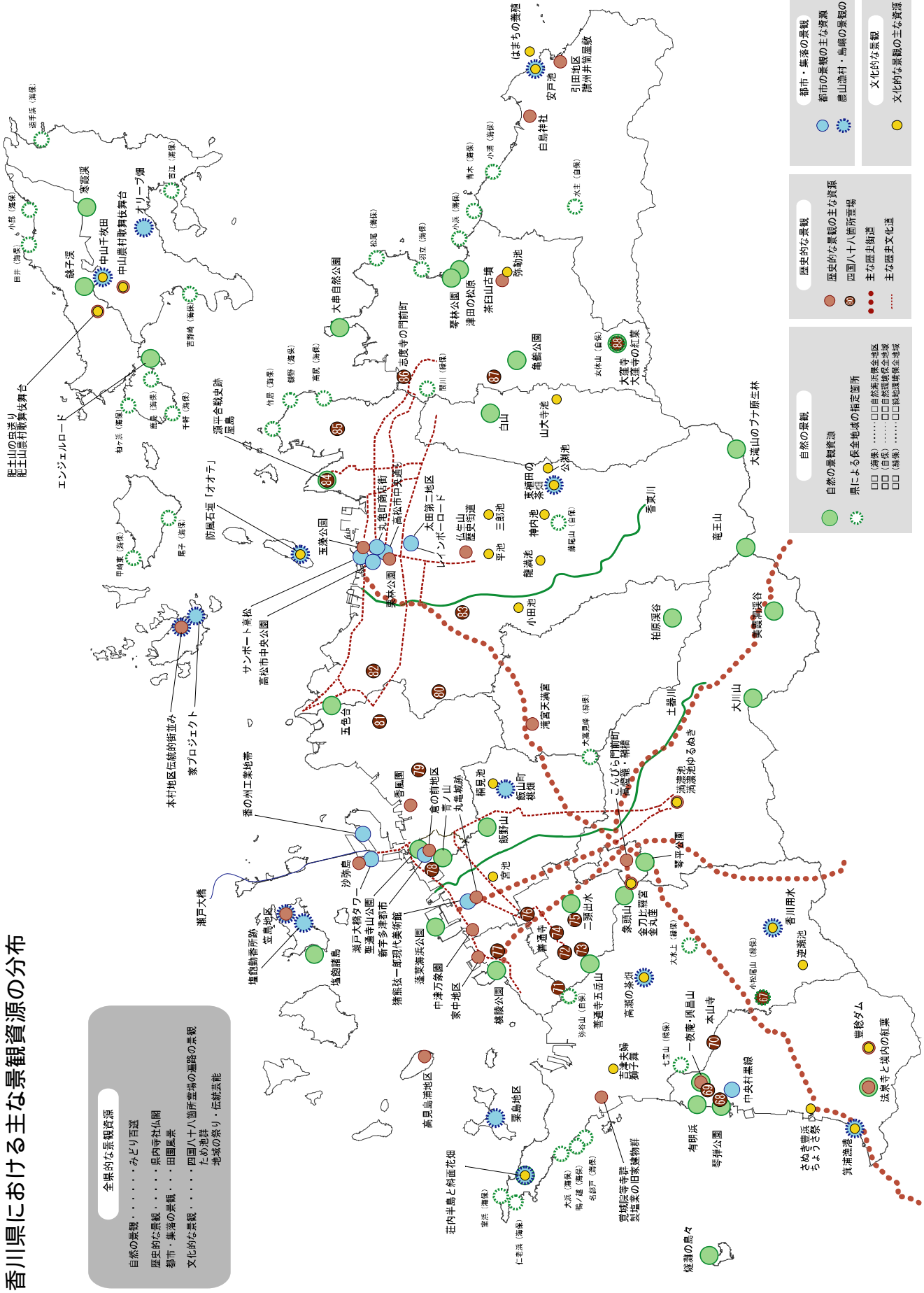
香川県特有の文化や遺産、それらから生まれた地域の活動が、地域の貴重な景観資源となっています。地域の伝統として守られている景観は、これからの後世に継承していくべき重要な景観です。

- 香川県特有の信仰上の活動から生まれた自然や歴史の景観
- 日常の生業によって、農山漁村集落や歴史的街並みが形成されている景観
- 地域住民の活動により、守られている伝統的な景観
- 県土に多く散在するため池と周辺の農地が共栄している景観



里山・ため池に農地がとけ込んだ景観

香川県における主な景観資源の分布



全県的な景観資源

自然の景観・・・みどり百選
 歴史的な景観・・・県内神社仏閣
 都市・集落の景観・・・田園風景
 文化的な景観・・・四国八十八箇所霊場の廻路の景観
 たぬき茶屋
 地域の祭り・伝統芸能

自然の景観

自然の景観資源
 県による民全地域の指定箇所
 □□ (海岸) □□ (自保) □□ (自保) □□ (自保)
 □□ (海岸) □□ (自保) □□ (自保) □□ (自保)

歴史的な景観

都市の景観の主な資源
 農山村・島嶼の景観の主な資源
 歴史的な景観の主な資源
 四国八十八箇所霊場
 主な歴史街道
 主な歴史文化道

都市・集落の景観

都市の景観の主な資源
 農山村・島嶼の景観の主な資源
 文化的な景観
 文化的な景観の主な資源

第3章 景観づくりの課題

本章では、香川県の景観の特性と現状を踏まえ、景観づくりを進めるに当たっての課題を明らかにします。

1. 香川らしい景観の課題

多様な景観資源にまとまりを持たせ、広域的な視点で連携を図り継承する必要がある。

都市化などの影響を受けて失われつつある多様な景観資源を、回復・保全し、まとまりのある景観資源として活かしていくことが求められる。

地形的なまとまりの中に点在する変化に富んだ自然景観や歴史・文化に由来するつながりのある歴史的な景観、都市・集落と田園が近接した田園景観などを県民共有の資産として認識するとともに、混在しつつあるこれらの景観を整序、調和させ、広域的な視点で連携を図ることが求められる。

これまで培われてきた歴史・文化のもと、香川県特有の自然や都市・集落などによって形成された香川らしい景観を、地域に根ざした活動によって、より質の高いものとして継承することが求められる。

2. 分類別の景観の課題

分類別には次のような課題としてまとめることができます。

自然の景観

讃岐山脈の自然景観

讃岐山脈の山なみ

- ・都市や集落と一体となった山なみが形成されているものの、都市化や高層建築物の立地などにより、近年では平野部から望む讃岐山脈の山なみ景観が失われつつある。
- ・市街地の背後に見える讃岐山脈や、香川らしい特徴的な里山、台形状の丘陵などの山なみ景観を守ることが求められる。



山なみ景観の荒廃

讃岐山脈の森林・渓谷

- ・ブナ原生林などの森林や河川の上流である渓谷などの自然資源の荒廃、周辺部の廃棄物の不法投棄などがみられる。
- ・良好な自然景観を保全するため、自然環境の源である動植物の生態系を保護することが求められる。



山林の不法投棄

讃岐平野の自然景観

里山

- ・里山では、植生の荒廃や宅地開発などによる景観の悪化がみられる。
- ・市街地や住宅地などの背景となっている里山を適切に管理し、保全することが求められる。



里山周辺の宅地化

台形状の丘陵

- ・古くに形成された台形状の丘陵は、個性的で特徴的な景観資源となっている。
- ・溶岩台地の特徴的な地形を保全するとともに、その周辺地域においても、屋島や五色台からの眺望景観への配慮が求められる。



五色台から望む眺望景観

河川・出水

- ・自然環境の変化により、地域の風土とともに成り立ってきた貴重な水辺環境や景観が失われつつある。
- ・河川環境の保全や周辺環境と調和した親水空間の創出が求められる。



土器川

瀬戸内海の自然景観

自然海岸

- ・瀬戸内海沿岸の半島部などでは、自然海浜保全地区等の指定により、良好な自然景観が保たれている。
- ・海岸の美化を図り、白砂青松の海岸を保全するとともに、周辺においては、自然景観と調和した景観づくりが求められる。



荘内半島の保全区域

瀬戸内海の島なみ

- ・瀬戸内海の多島美は、世界に誇れる貴重な自然景観である。
- ・瀬戸内海に浮かぶ島々の自然環境を保全し、みどり豊かな景観資源として活用していくことが求められる。



瀬戸内海の多島美

歴史的な景観

史跡・名勝の歴史景観

史跡・名勝

- ・史跡・名勝は、貴重な歴史景観として守られているが、都市化により、施設内外からの眺望景観が失われつつある。
- ・市街地などに存在する史跡・名勝は、近代的な街並みとの調和を図り、都市に歴史の重みや緑の潤いをもたらす貴重な空間として保全・活用することが求められる。



栗林公園周辺の市街化

寺社の歴史景観

四国八十八箇所霊場をはじめとする寺社

- ・寺社などの歴史的建造物は、年数の経過による外観の汚れや破損などの進行が懸念される。
- ・歴史的建造物を地域の誇りとして保全し、地域の景観づくりに活用することが求められる。

街並みの歴史景観

歴史的な街並み

- ・歴史的な街並みの保全に向けた地域住民の活動が活発に行われている地域もあるが、過疎化により街並みの維持が困難な地域が生じたり、周辺の都市化により、歴史的な街並みが孤立しつつある。
- ・街並みを保全する地域活動を推進するとともに、歴史的な施設や街並みからの景観を意識し、周辺地域も含めた景観づくりが求められる。



街並みを保全する地域活動
(NPOが空き家を活用して整備した讃州笠屋邸〔引田地区〕)

歴史街道沿いの景観

街道

- ・市街地の拡大などにより、歴史街道のまとまりや連続性が失われつつある。
- ・街道の歴史的背景を再認識し、周辺地域との連携により、街道沿いの景観を形成することが求められる。



旧金毘羅街道沿いの風景

都市・集落の景観

都市の景観

都市のランドマーク

- ・都市部では、地域を特徴づける人工物が立地している。
- ・地域のシンボルとなる建築物や工作物などの人工物は、周辺環境との調和に配慮するとともに、都市的景観のランドマークとして活用することが求められる。



瀬戸大橋

市街地

- ・商店街の衰退による空き家の増加や統一感のない建築物、屋外広告物の乱立などにより、市街地の良好な街並み景観が失われつつある。
- ・商業地では、事業者や地元商店街、住民等が連携し、中心市街地活性化に併せたにぎわいのある街並み景観の形成が求められる。



商店街の衰退

住宅地

- ・讃岐平野に低層住宅地が広がっているが、近年では、土地利用の用途混在により住宅地がこれまで培ってきた閑静な環境が失われている地域や、高層住宅の乱立により、住宅地としてのまとまりが損なわれたり、山なみなど遠景の眺望が失われている地域もあり、住宅地の景観の悪化がみられる。
- ・地域住民の景観意識を醸成するとともに、建築物の適切な誘導、緑化などにより、快適な住宅地づくりが求められる。



高層住宅と低層住宅の混在

沿道

- ・郊外部の幹線道路の沿道の一部では、大型の屋外広告物や大規模な商業施設の進出によって、周辺の既存住宅地や田園の景観が損なわれつつある。
- ・周辺環境と調和した街路樹の整備や外観の適切な規制・誘導等により、統一感のある快適な沿道景観の形成が求められる。



大規模店舗の立地

公園・緑地

- ・地域の公園・緑地は、身近な緑地空間として日常的な景観要素になっている。
- ・公園や公共施設内の緑地では、周辺からの見え方にも配慮し、積極的な緑化や親水性の確保が求められる。



高松市中央公園

工業地

- ・ 海岸部の埋立て等による自然環境の悪化により、瀬戸内海の特徴的な景観が失われつつある。
- ・ 海岸部の埋立て整備や工場の立地にあたっては、瀬戸内海や周辺市街地の景観を阻害しないような対応が求められる。



埋立てが進む瀬戸内海沿岸

農山漁村の景観

農地

- ・ 農地は地域の生業として守られてきたが、郊外の宅地化の進行による農地の減少や、農業従事者の高齢化や後継者不足などによる耕作放棄地の増加がみられる。
- ・ 地域特有の棚田やオリーブ畑などは、農山村の特徴的な景観資源であり、地域の生業や活動として成り立たせることにより景観を保全することが求められる。

農山漁村集落

- ・ 農住の混在や産業の衰退、後継者不足により、長い年月をかけて培われた農山漁村集落の景観が失われつつある。
- ・ 体験型観光の振興との連携などにより、集落の維持が求められる。

島嶼部の集落

- ・ 島嶼部特有の景観資源の保全や景観形成の取組みが行われているが、近年では集落の高齢化や生活者の減少が、建物の荒廃や空き家の増加を招き、街並み景観が失われつつある。
- ・ 過疎や高齢化に対応し、空き家の活用などにより、集落の街並み景観の保全・活用が求められる。

文化的な景観

信仰上の活動から生まれた文化的な景観

- ・「お遍路さん」などの寺社を巡る文化は、香川県をはじめ四国特有の文化的資源として受け継がれてきた。
- ・県内に点在する文化的な景観資源は、県民の共有の財産として保全し、それらに配慮した周辺地域の景観づくりが求められる。



札所を巡るお遍路さん

生活から生まれた文化的な景観

- ・地域の活動や生業は、地域特有の生活景観を生み出してきた。しかし、近年の生活スタイルの変化により、地域の活動や生業の維持存続の困難から後継者不足が危惧されており、これらの文化的な景観は失われつつある地域も見られる。
- ・生活から生まれた文化的な景観を地域の誇りとし、文化交流などの地域振興活動と連携しながら、地域の生業として文化的な景観を保全・継承していくことが求められる。



瀬戸内海での漁労

風土や歴史性から生まれた文化的な景観

- ・近年では、宅地開発などにより、香川県の風土や歴史性を象徴するため池の景観が失われつつある。
- ・地域住民がため池の文化的価値を再認識し、美化活動や継承活動などにより保全・活用することが求められる。



地藏池

伝統的な祭り・伝統芸能

- ・地域の行事として、伝統的な祭りや伝統芸能などが守られているが、近年では地域住民の不参加などによる後継者不足が問題となっている。
- ・地域住民との協働により地域特有の祭礼の景観を保全・継承し、観光や地域交流に結びつけ、地域の活性化につなげていくことが求められる。



こんぴら宮蹴鞠

第4章 景観づくりの目標

本章では、香川県の景観の課題を踏まえ、景観づくりの目標と指針を示します。

1. 景観づくりの目標

香川県は、県土面積は小さくても豊富な景観資源を有しており、これまで培ってきた文化や県民の生活が共存することによって、香川らしい景観が形成されています。この美しい景観を連携させ、後世へ継承していくことが必要です。

そのため、香川らしい美しい景観を県民共有の資産として認識し、共通の目標をもって景観づくりに取り組んでいくことが重要です。

香川県の景観づくりの目標を次のように掲げます。

目 標

あたたかさ と歴史・風土が育む、 みどりと融和した美しい香川づくり

あたたかさ

香川県のあたたかな気候特性に加え、お遍路さんへの接待に象徴される人のあたたかさなどによって育まれた良好な景観を保全します。

歴史・風土

県内に残る史跡・名勝、四国八十八箇所霊場などの歴史的施設や、金毘羅参り、四国八十八箇所巡り、四国の玄関口など、人が往来する歴史・風土を景観づくりに活かします。

みどり

讃岐山脈のみどり、讃岐平野に広がる田園や里山のみどり、みどり豊かな瀬戸内海が多島美など、凝縮されている香川の自然の特徴を活かします。

融和

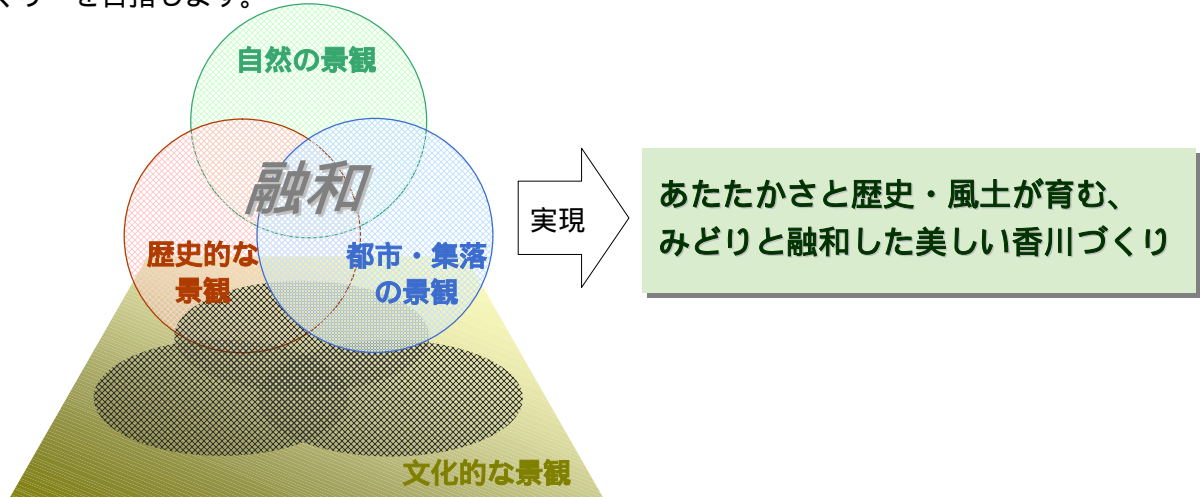
多様な景観資源が県土に点在する特性を活かし、それらの景観資源がまとまりをもちながら、周辺の景観にとけ込み調和することによって形成される香川らしい景観づくりを目指します。

美しい

香川らしい景観の形成によって、県民が地域に愛着と誇りをもつことができる“美しい香川づくり”を目指します。

2. 景観づくりの指針

景観づくりの目標である「あたたかさや歴史・風土が育む、みどりと融和した美しい香川づくり」を実現するためには、「自然」、「歴史」、「都市・集落」、「文化」の4つの特性がそれぞれの良好な景観を形成することが重要です。それらが“融和”することによって、“美しい香川づくり”を目指します。



(1) 香川らしい景観づくりの指針

< 香川らしい景観 >

多様な資源が融和した美しい香川づくり

自然と歴史の融和

- ・ 四国八十八箇所のお寺や歴史的な建造物などが讃岐山脈や里山などのみどりを借景し融和することによって生まれる深みのある景観形成を目指します。

歴史と都市・集落の融和

- ・ 史跡・名勝や寺社などの歴史資源を有する地域において、それらの資源と融和した街並みを形成することで生まれる美しい景観形成を目指します。

都市・集落と自然の融和

- ・ 讃岐山脈から讃岐平野に広がるみどりを下地に、都市・農山村と林、里山、河川、ため池等が織りなすように融和した景観形成を目指します。
- ・ 目前に広がる豊かな瀬戸内海が身近に感じられる都市、漁村づくりや、波静かな海に浮かぶみどり豊かな島嶼部の集落の保全、育成により、風光明媚な瀬戸内海と融和した景観形成を目指します。

文化と自然、歴史、都市・集落の融和

- ・ 日常の生業や生活によって守られる農山漁村集落や、地域住民の活動によって形成される良好な市街地や住宅地の街並みがその他の資源と融和する景観形成を目指します。
- ・ 伝統的、文化的な景観の質を落とすことなく保持し、それらと共生することで、現在の生活と融和した景観形成を目指します。

広域的重要な景観の融和

- ・瀬戸内海及びその沿岸地域

「瀬戸内海及びその沿岸地域」は、広域的で重要な景観を有する地域であって、複数の市町にまたがることから、一体的な観点で捉え、島のみどりや沿岸地域の自然景観と島々の歴史・文化的景観の融和を目指します。また、ウォーターフロントでは、海を活かした都市景観の形成を目指します。

- ・四国八十八箇所霊場と遍路道

「四国八十八箇所霊場と遍路道」は、広域的で重要な景観資源であって、複数の市町にまたがることから、一体的な観点で捉え、札所及びその周辺や遍路道の文化的な景観と自然・歴史・集落景観が融和した景観の形成を目指します。

(2) 分類別の景観づくりの指針

< 自然の景観 >

山から海へ緩やかに広がる讃岐の地形を活かした自然景観づくり

讃岐山脈の山なみや瀬戸内海の島なみなどの香川県特有の景観資源を保全・活用し、遠方からみどりと海が眺望できる美しい自然景観を目指します。

- ・ 讃岐山脈から瀬戸内海に広がる調和のとれた自然資源の保全
- ・ 遠景となる自然資源を活かした景観づくり



遠景となるみどりと瀬戸内海

< 歴史的な景観 >

地域の歴史・風土を継承し、活用する歴史景観づくり

香川県がこれまで培ってきた歴史・風土は全県民の共有財産であり、香川らしい景観形成に最大限活用することにより、街並みと史跡・名勝などが調和した美しい歴史景観を目指します。

- ・ 地域の歴史を伝える寺社や史跡などの保全
- ・ 史跡・名勝などの周辺における街並みの形成



善通寺とその周辺

< 都市・集落の景観 >

魅力ある生活空間を演出する都市・集落景観づくり

住民の生活の場となる都市・集落において、地域住民の誇りとなる共通の生活空間を創り出すことで、まとまりのある美しい都市・集落景観を目指します。

- ・ 都市・集落の魅力ある生活環境づくり
- ・ 地域の誇りとなる共有空間の創出
- ・ 住民との協働による景観づくり



香川県庁周辺の市街地

< 文化的な景観 >

人の生活と活動を伝える文化景観づくり

人の生活や活動から生まれた景観を後世に継承し、風格と厚みのある文化景観を目指します。

- ・ 地域の成り立ちや営みを伝える文化的な景観などの保全
- ・ 祭りや芸能など地域の伝統文化の継承
- ・ 人々が巡り行き交うことによって育まれる動的な景観づくり



大窪寺を訪れるお遍路さん

第5章 景観づくりの取組み

1. 景観づくり推進の基本的な考え方

香川らしい景観づくりを実現するためには、県民が共通の視点をもって景観づくりに取り組む必要があります。本章では、景観づくりの視点を示すとともに、その視点に基づき、取組みを推進するための基本となる考え方を示します。

(1) 景観づくりの視点

自然、歴史、文化等から見出される地域の個性を景観特性として活かし、それぞれが融和した香川らしい景観を形成していくことが重要である。

それぞれの景観資源が単独で存在しているものではないことを認識し、異なる景観資源が接する部分において多様な景観資源を活用するとともに、住民共通の資産として、香川らしい景観形成に取り組むことが必要である。

様々な景観資源と地域住民の日常生活や地域活動が関わることにより、地域の誇りとなるような良好な景観が形成されることが重要である。

地域固有の景観は、住民自らの行動によって形成されることを自覚し、さらに、景観意識からまちづくり意識へと、住民の意識を向上・醸成する取組みが必要である。

景観は、画一的な価値観で評価できるものではなく、それぞれの地域の固有の特性と密接に関連するものとして認識することが重要である。

景観は、それぞれの地域の個性及び特色の伸長に資するよう、その多様な形成を図る取組みが必要である。

景観づくりは、単に地域の景観を良くすることにとどまることなく、観光振興や地域間交流の促進など、地域の価値や魅力を向上させるような取組みが重要である。

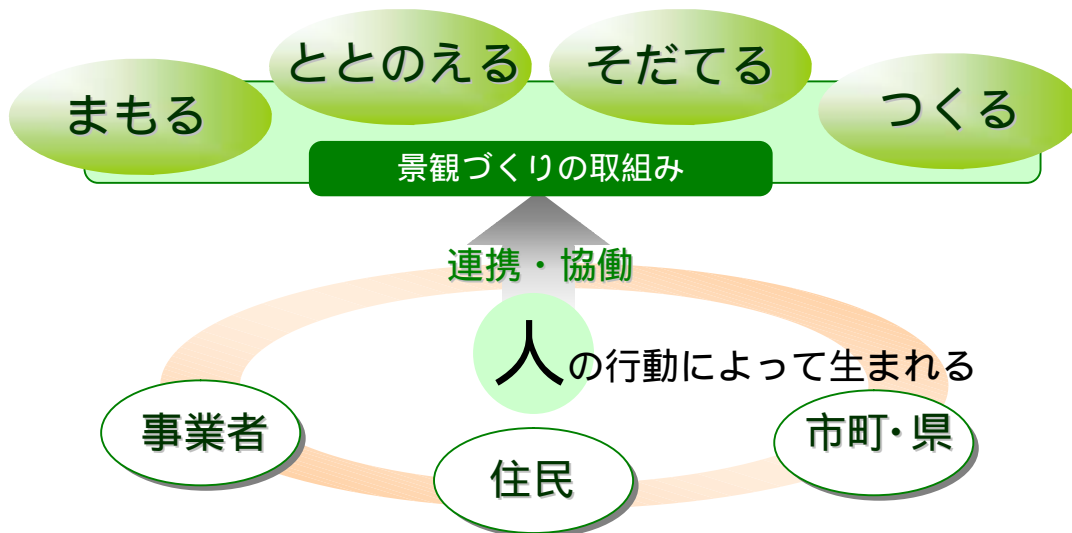
良好な景観が形成されることにより、地域の魅力が増進、創出されるものであることから、住民、事業者、市町及び県による、良好な景観の形成に向けた一体的な取組みが必要である。

地域の姿は、歴史とともに変化していくものであるが、地域の個性や調和を保ちながら、固有の歴史を残すことが重要である。

自然や歴史を保全するだけでなく、地域の文化として育てていくため、人が継続的に関わって景観形成に活用していくことが必要である。

(2) 推進に当たっての考え方

香川県の景観づくりは、一人ひとりの「まもる」、「ととのえる」、「そだてる」、「つくる」といった行動によって取り組むことを基本とします。また、住民、事業者、市町・県が、連携・協働して取り組む必要があります。



これまで培ってきた景観を**まもる**

・これまで培ってきた香川県特有の歴史・文化の景観や、海・山・川・農地・ため池などの自然景観をまもる。

周辺環境に配慮し、景観を**ととのえる**

・住民一人ひとりが景観に配慮するとともに、景観の阻害要因を認識し、周辺環境との調和によって良好な景観をととのえる。

人とまちのなかで、景観を**そだてる**

・景観づくりの主役である人の意識をそだて、生活の営みやまちの特色と歴史・文化のなかで景観をそだてる。

連携と協働により、景観を**つくる**

・周辺との連携や各主体との協働により、住民が共有できる空間に地域の誇りとなる景観をつくる。

2. 景観づくりの取組み

景観づくりの指針に基づき、住民、事業者、市町・県が連携して取り組んでいくための方向性と取組み方策の例を示します。

(1) 香川らしい景観づくりの取組み

多様な資源が融和した美しい香川づくり

眺望景観をまもる

- ・ 県民や県外からの来訪者が良好な景観を享受し、景観から香川県の風土を感じとることができるような眺望景観を**まもり**、里山や海などを極力意識的に見せるよう努める。
- ・ 建築物はできるだけ落ち着いた色彩を基調としながら、建物敷地内の緑化や街並みの背景に位置する自然景観を積極的に活用することにより、良好な眺望景観を**まもる**ことに努める。

<取組み方策の例>

- ・ 自然景観の近郊に立地する建物の高さ制限・屋外広告物等の規制
- ・ 市町間の連携による広域的な景観施策への取組み
- ・ 眺望のできる視点場の整備
- ・ 周辺の自然と調和に配慮した建築物の色彩計画 など

深みのある景観をまもり、そだてる

- ・ 県内に点在する歴史的な史跡・名勝などとともに、背景のみどりを**まもり**、深みのある香川らしい景観を意識的に見せるよう努める。
- ・ 歴史的建築物などの敷地内の緑化や、水や緑の活用による統一感のある街並みの形成などにより、自然と歴史が融和した街並み景観を**そだてる**よう努める。

<取組み方策の例>

- ・ 深みのある景観が望見できる視点場の整備
- ・ 周辺地域における建築物・工作物の規制・誘導
- ・ 良好な景観に対する表彰制度の実施
- ・ 歴史的建築物の敷地内の緑化
- ・ 緑化等による街並みの統一 など

地域の文化をまもり、そだてる

- ・ 地域の景観資源を活用し、住民が愛着と誇りをもてる地域を**そだて**、地域外へ発信するよう努める。
- ・ 景観づくりをきっかけに自主的なまちづくり活動を**そだて**、地域の文化を**まもる**よう努める。

<取組み方策の例>

- ・ 広報などによる景観づくりの紹介
- ・ 景観づくり活動の表彰制度の実施
- ・ 伝統的な祭りや伝統芸能のPR など

地域の誇りと活力をそだてる

- ・ 歴史的街並み周辺の電線類や広告物などの都市的要素を除去し、地域の誇りとして**そだてる**よう努める。
- ・ 都市・集落にある歴史的な景観資源を地域の観光資源として活用し、地域間交流により、地域の活力を**そだてる**よう努める。

<取組み方策の例>

- ・ 観光振興や定住策との連携
- ・ 景観に関する研究会やイベントの開催
- ・ 景観資源を結ぶ回遊ルートの確保
- ・ 地域の玄関口となる駅・空港・港等における象徴的な景観形成や交通インフラのデザイン化
- ・ 統一感のある案内板などの設置
- ・ 屋外広告物の規制、看板類の統一
- ・ 電線類の地中化 など

(2) 分類別の景観づくりの取組み

< 自然の景観 >

山から海へ緩やかに広がる讃岐の地形を活かした自然景観づくり

森林・渓谷の自然景観をまもる

- ・ 長期的な視点で自然を保護するために、自然景観の源である生態系を**まもる**よう努める。
- ・ 新たな開発行為や建築行為から、ブナなどの原生林や花木などの自然環境や山なみの稜線などを**まもる**よう努める。

< 取組み方策の例 >

- ・ 自然保護活動の推進
- ・ 長期的な視点による自然保護計画の策定
- ・ 開発行為や建築行為等の規制・誘導
- ・ 自然の地形を尊重し、活かす景観づくり
- ・ 森林伐採の抑制 など

瀬戸内海の島なみ景観をまもる

- ・ 島嶼部や瀬戸内海の環境破壊を防止し、多島美を**まもる**よう努める。
- ・ 未利用地の有効活用により、海岸部の埋立てなどを抑制し、島なみの景観を破壊から**まもる**よう努める。

< 取組み方策の例 >

- ・ 島嶼部の自然環境の保全
- ・ 海岸の清掃活動の実施
- ・ 海岸部の埋立ての抑制
- ・ 海岸部周辺の建築物の高さ・形態等の規制
- ・ 未利用地の有効活用 など

里山景観をまもり、そだてる

- ・ 里山や丘陵の適正な管理を行い、景観を阻害する無秩序な開発行為や建築行為から**まもる**よう努める。
- ・ 里山を背景とした市街地や住宅地の景観を、地域の共有財産として後世に継承し**そだてる**よう努める。

< 取組み方策の例 >

- ・ 風致地区制度の活用
- ・ 条例等による自然・環境の保全
- ・ 荒廃を抑制するための適正な維持管理
- ・ 条例などによる土地開発等の規制・誘導
- ・ 地域の身近な里山を活用し、まもり、育てる組織づくり
- ・ 開発跡地の整備・緑化
- ・ 都市計画区域の拡大 など

水辺景観をまもり、そだてる

- ・ 讃岐平野に点在する出水や河川などの水辺環境を保全し、地域固有の水辺景観を**まもる**よう努める。
- ・ 地域の自発的な環境活動を促進し、水辺景観を次世代に継承し、**そだてる**よう努める。
- ・ 水辺空間をプロムナードとして人々に開放し、身近な親水空間をつくることにより、**まもり**、**そだてる**よう努める。

< 取組み方策の例 >

- ・ 環境学習活動などの推進
- ・ 香の川パートナーシップなどの活動の普及
- ・ 河川などにおける親水空間の創出
- ・ 河川の清掃活動の実施 など

山なみ景観を確保するために、ととのえる

- ・平野部からみた讃岐山脈の山なみを意識し、建築物の高さなどを**ととのえる**ことにより、眺望景観が確保できるように配慮する。

<取組み方策の例>

- ・計画的な土地利用規制・誘導
- ・地区計画や高度地区の活用
- ・周辺環境と調和した屋外広告物の設置
- ・森林伐採の抑制 など

瀬戸内海の水辺景観をつくり、周辺地域をととのえる

- ・白砂青松の海岸などの瀬戸内海の自然や生態系に配慮するなど、周辺環境と調和のとれた良好な水辺環境をつくるよう努める。
- ・周辺地域の建築物や工作物において、形態や高さを**ととのえる**よう努める。

<取組み方策の例>

- ・海岸の清掃活動の実施
- ・海岸部のごみの不法投棄の防止
- ・周辺環境と調和のとれた工法による整備
- ・港湾や海岸における公共事業の自然への配慮
など

< 歴史的な景観 >

地域の歴史・風土を継承し、活用する歴史景観づくり

地域の誇りとなる歴史景観をまもり、ととのえる

- ・地域の歴史や個性を伝える史跡・名勝や寺社などの価値を再認識し、地域で積極的に**まもる**よう努める。
- ・地域を象徴するシンボリックな歴史施設は、互いの共感を呼ぶ景観ポイントとして、その眺望を**まもる**ため、周辺の建築物等の高さ制限や障害物の排除などに努める。
- ・市街地にある庭園や公園などは、周りの高層建築物や構造物などにより、趣のある景観が損なわれないよう施設内からの眺望を**まもる**こととし、周辺地域における建築物等の高さや形態意匠などを**ととのえる**よう配慮する。

< 取組み方策の例 >

- ・景観上重要な施設・建造物・樹木等の発掘
- ・価値ある歴史的建造物の保全・継承
- ・周辺と調和した建築物の高さ・形態・意匠
- ・景観上重要な施設・建造物・樹木の周辺地域における一体的なデザインの誘導 など

歴史的な街並みをまもり、周辺地域をととのえる

- ・地域住民が、周辺に存在する価値ある歴史的な景観資源を認識し、歴史的な街並みを**まもる**とともに、緑化や景観阻害要因の是正により街並みを**ととのえる**よう努める。
- ・歴史的な街並みの周辺地域では、歴史的な街並みと一体となり調和がとれた地域とするため、建築物の高さや形態などを**ととのえる**よう配慮する。

< 取組み方策の例 >

- ・周辺の街並みに配慮した建築物の高さ・形態規制・配置・デザイン
- ・歴史的な価値の認識と景観意識の醸成活動
- ・緑化等による街並みの統一
- ・電線類の地中化 など

地域の意識と歴史的な街並み景観をそだてる

- ・歴史的な街並みの保全に努める際に、地域の歴史的価値を住民が共有し、住民主体の保全活動を**そだてる**よう努める。
- ・空き家・空き店舗の活用や建築物の高さ・色彩をそろえることにより、街並み景観を継承し、地域の活力を**そだてる**よう努める。

< 取組み方策の例 >

- ・街並み保全活動の推進
- ・地域住民の景観意識の啓発活動
- ・景観条例による建築物の高さや色彩の周辺との調和 など

街道の連続性をつくる

- ・歴史的な云われのある街道を保全するため、地域間の広域的な連携を意識して、連続性を**つくる**よう配慮する。
- ・街道沿いの建築物の外壁（ファサード）を揃えるなど、統一感のある街道を**つくる**よう努める。

< 取組み方策の例 >

- ・歴史的な街道の広域連携
- ・連続性を意識した街道沿いの建築物の高さ・意匠等
- ・統一的な設置物などによる街道沿いの整備 など

< 都市・集落の景観 >

魅力ある生活空間を演出する都市・集落景観づくり

田園景観の広がりをまもる

- ・古くから住民を支えてきた農業の促進を図り、讃岐平野の田園景観を**まもる**よう努める。
- ・都市の無秩序な拡散を防止し、地域性に十分配慮した開発を誘導し、豊かな田園景観を**まもる**よう努める。

< 取組み方策の例 >

- ・農地転用許可制度の適正な運用
- ・景観農業振興地域整備計画の策定
- ・周辺の景観や環境に配慮した開発規制・誘導
- ・計画的な土地利用の誘導 など

農山村の集落景観をまもり、そだてる

- ・グリーンツーリズムなどの体験型観光活動を積極的に取り入れることで、農山村の活性化を図り、地域特有の棚田やオリーブ畑などの農村景観を**まもる**よう努める。
- ・農林業をはじめとした産業を地域の共有財産として後世に継承し、**そだてる**よう努める。

< 取組み方策の例 >

- ・体験型観光活動との連携
- ・農地の多面的利用による耕作放棄地の活用
- ・空き家の活用による農山村集落の維持
- ・景観に配慮した農業用施設、ほ場整備
- ・歴史・文化を形成する土地改良施設の保全

など

漁村の集落景観をまもり、そだてる

- ・密集している漁村集落を保全するため、地域住民主体のルールづくりなどにより、漁村集落の街並み景観を**まもる**よう努める。
- ・漁業を**そだてる**ことにより、漁業に関連する施設や漁船、漁具などと家並みが一体となった漁村集落の景観を**まもる**よう努める。

< 取組み方策の例 >

- ・体験型観光活動との連携
- ・漁村集落特有の街並みの保全
- ・瀬戸内海の自然に配慮した漁港整備 など

周辺環境に配慮して、工業地景観をととのえる

- ・瀬戸内海の自然環境や周辺市街地との一体的な景観形成を意識し、敷地内の緑化や大規模施設の形態・色彩等を**ととのえる**よう配慮する。

< 取組み方策の例 >

- ・港湾や海岸における周辺の景観に配慮した施設整備
- ・未利用地の有効活用
- ・事業所の敷地内緑化の推進 など

沿道周辺環境をととのえ、調和した沿道景観をつくる

- ・景観障害要因になっている建築物や工作物を**ととのえ**、周辺環境と調和した沿道景観をつくるよう努める。
- ・田園地域では、新たな建築行為や開発行為を抑制し、開放的な沿道景観を**つくる**よう努める。

< 取組み方策の例 >

- ・計画的な土地利用の誘導
- ・周辺環境と調和した屋外広告物の設置
- ・大規模な施設や屋外広告物に対する指導強化
- ・街路樹やモニュメントの設置
- ・電線類の地中化
- ・景観に配慮した道路防護柵の設置 など

快適な住宅地景観をととのえ、そだてる

- ・住宅地からの眺望の確保や周辺の建物の高さに配慮して、良好な住宅地としての街並みをととのえるよう努める。
- ・住宅地のコンクリートブロック擁壁などは、積極的な緑化や生け垣にするなど、住民主体で良好な景観をそだてるよう努める。
- ・地域住民が主体となり、環境美化や清掃活動による快適な住宅地景観をそだてるよう努める。

< 取組み方策の例 >

- ・地区計画の活用
- ・建築協定・緑化協定の活用
- ・低層住宅地における建物高さの制限
- ・高層住宅における屋上広告や高層部について色彩等の配慮
- ・高層住宅周辺の空地の確保と緑化の推進
- ・住宅地景観の表彰制度の実施
- ・地域の環境美化・清掃活動の推進 など

島嶼部特有の景観をそだてる

- ・島嶼部特有の伝統を生活に取り込んだ活動を促進することで、地域の共有財産として後世に継承しそだてるよう努める。
- ・島嶼部の景観づくりをきっかけに、新たなまちづくりの活動をそだてるよう努める。

< 取組み方策の例 >

- ・地域活動や行事の活性化
- ・島嶼部特有の文化の保全・継承
- ・島嶼部の自然環境の保全 など

ゆとりある緑地景観をそだてる

- ・周辺環境との調和や植栽の成長による景観の変化に配慮しながら、ゆとりある緑地景観をそだてるよう努める。
- ・緑の保全の活動をそだてるよう努める。

< 取組み方策の例 >

- ・緑化・美化活動の推進
- ・地域住民による公園・緑地の管理
- ・公共空間の積極的な緑化 など

地域のシンボルをつくる

- ・地域のシンボルとなる施設については、地域の風土や周辺の環境に十分配慮したうえで都市のランドマークとして活用し、魅力ある都市景観をつくるよう努める。

< 取組み方策の例 >

- ・地域の風土や周辺の環境に配慮した施設整備
- ・地域のシンボルの魅力ある演出
- ・景観形成の先導的な役割を担う公共施設の景観整備 など

良好な市街地景観をつくる

- ・施設内や街並みの緑化、建築物や工作物の形態をそろえることなどにより、良好な市街地景観をつくるよう努める。
- ・商店街などの中心市街地では、地域固有の歴史や個性を活かすとともに、店舗の外壁（ファサード）の統一や空き店舗の活用により、にぎわいのある街並み景観をつくるよう努める。
- ・瀬戸内海に面する市街地では、瀬戸内海の自然環境との一体的な景観形成を意識し、親水性のある市街地景観をつくるよう努める。

< 取組み方策の例 >

- ・地区計画や高度地区の活用
- ・公共空間や街路空間の緑化等による街並みの統一
- ・中心市街地の活性化
- ・都市施設や店舗などのデザイン・色彩の統一
- ・ストリートファニチャーの設置
- ・屋外広告物の規制
- ・屋上緑化の推進
- ・放置自転車の除去
- ・臨海地域における瀬戸内海の自然に配慮した施設整備
- ・街並みに配慮した防犯・防災施設（防犯灯等）の色彩・形態等 など

< 文化的な景観 >

人の生活と活動を伝える文化景観づくり

香川特有の文化的な景観をまもり、そだてる

- ・地域住民の間で、四国八十八箇所霊場を巡る四国遍路によって形作られる景観を、文化的価値として認識し、市町間で広域的に連携しながら**まもり**、香川県特有の文化を、一体感を大切にしながら**そだてる**よう努める。

< 取組み方策の例 >

- ・香川県特有の文化的な景観の価値の普及・啓発
- ・地域固有の歴史・文化の保全
- ・四国八十八箇所霊場界隈における広域的な住民意識の醸成 など

生活の営みをまもり、生業景観をそだてる

- ・地域の生活の営みから生まれた棚田などの文化的な景観の重要性を地域で再認識し、その景観の源となる地域産業を振興するとともに人々の営みを**まもる**よう努め、地域の共有財産として後世に継承し**そだてる**よう努める。

< 取組み方策の例 >

- ・景観農業振興地域整備計画の策定
- ・地域産業の振興と継承
- ・棚田オーナー制度の活用による生業景観の保全・継承
- ・日常生活における景観意識の高揚 など

風土や歴史をそだて、これまで培われてきた文化的な景観をまもる

- ・香川県特有の風土や歴史を**そだて**ながら、讃岐平野に点在するため池を行政・土地改良区・水利組合・地域住民など多様な主体が一体となって適正に保全管理し、これまで培われてきた文化的な景観を**まもる**よう努める。

< 取組み方策の例 >

- ・「ため池の保全に関する条例」による適切な保全管理の啓発・指導
- ・地域住民を主体とした新たな維持管理の仕組みづくり など

住民参加によって、生活景観をまもり、そだてる

- ・地域住民が主体となって、これまで培ってきた伝統的な祭りや日常生活の原風景となる生活景観を積極的に**まもる**よう努める。
- ・日常生活の中で良好な景観の意義を住民が意識できるよう工夫し、住民主体の景観づくりの活動を**そだてる**よう努める。
- ・様々な人の営みや人々が楽しむ賑やかな空間形成により、良好な動的景観を**そだてる**よう努める。

< 取組み方策の例 >

- ・住民主体の地域のルールづくり
- ・景観づくりに向けた提案制度の活用
- ・景観意識の普及・啓発
- ・景観づくり表彰制度の実施
- ・地域の伝統的な祭りや地域活動への参加促進
など

3. 景観づくりの主体と役割

(1) 住民、事業者、市町、県の役割

香川県の良好な景観形成に取り組むため、住民、事業者が主役となり、市町、県がそれぞれの役割を果たしながら、連携・協働して取り組む必要があります。

住民の役割

- ・生活の中にある身近な景観を形成する主体として、自発的に建築物の形態意匠について周囲への配慮や住宅の生け垣等の身近な良好な景観形成に努め、地域の歴史・文化に対する認識を深め、地域文化を感じさせる景観形成に努める。
- ・美しい景観づくりへの関心をもち、積極的に参加するよう努める。
- ・市町・県が行う景観形成施策や公共事業に対し関心をもち、積極的に協力するよう努める。

まもる	・ 周辺の自然や生態系の保全 ・ 伝統的な祭りへの参加	・ 地域の歴史資源の発掘・継承 ・ 地域産業の継承や耕作放棄地の活用 など
ととのえる	・ 地域の環境美化・清掃活動 ・ 家の周りの緑化	・ 周辺環境と調和した住宅への配慮 など
そだてる	・ 景観意識の向上 ・ 景観づくり活動への参加	・ 景観づくりに向けた提案制度の活用 ・ 地域における景観教育 など
つくる	・ 地域のルールづくり ・ 景観形成施策や公共事業への関心・提案	・ 生け垣や花壇などの身近な景観づくり など

事業者の役割

- ・地域社会の構成員として、自発的に、建築物の形態意匠や屋外広告物等について、地域の歴史・文化などを考慮し、地域の景観と調和するよう努める。
- ・法・条例等を遵守し、住民や市町・県が行う景観形成に関心をもち、積極的に協力するよう努める。
- ・敷地内の緑化など、積極的に景観づくりに取り組み、地域の景観づくり活動に参加するよう努める。

まもる	・ 保全活動への社員のボランティア参加 ・ 地域の保全すべき自然や歴史に配慮した事業展開	・ 地域のルールや規制の遵守 など
ととのえる	・ 周辺と調和した屋外広告物設置 ・ 地域資源を活用した事業展開	・ 事業所の周りの環境美化・清掃活動 ・ 店舗等のデザインの周辺との調和 など
そだてる	・ 景観意識の向上 ・ 地域住民との連携による景観づくり活動への参加	・ 景観づくりに向けた提案制度の活用 など
つくる	・ 敷地内の積極的な緑化 ・ 周辺の自然環境や歴史に配慮した建築物の配置・デザイン	・ 景観形成施策や公共事業への協力 など

市町の役割

- ・基礎的自治体として、地域の特性を活かした景観行政を積極的に推進し、地域住民、事業者と一体となった地域の良い景観形成に主体的に取り組むことが望まれる。
- ・市町の行政区域を越えた香川らしい景観やみどりなどの広がりのある景観への取組みについて、県や近隣市町と連携を図ることが望まれる。
- ・住民・事業者が主体的に取り組む良好な景観づくりへの活動を支援することが望まれる。

まもる	<ul style="list-style-type: none"> ・地域固有の歴史・文化の保全 ・公共事業の自然や生態系への配慮 ・祭りや伝統行事への参加促進による文化的な景観の保全・継承 ・広域的な景観資源の保全と周辺市町との連携 	など
ととのえる	<ul style="list-style-type: none"> ・計画的な土地利用の誘導 ・景観阻害要素に対する指導の強化 	など
そだてる	<ul style="list-style-type: none"> ・景観教育の実施 ・地域における景観・環境美化活動への支援 ・建築関係団体を通じた普及啓発 ・広報誌やホームページによる普及啓発 	など
つくる	<ul style="list-style-type: none"> ・周辺と調和した公共事業の実施 ・景観資源を活用したまちづくり ・景観法を活用した景観づくり（景観計画の策定） 	など

県の役割

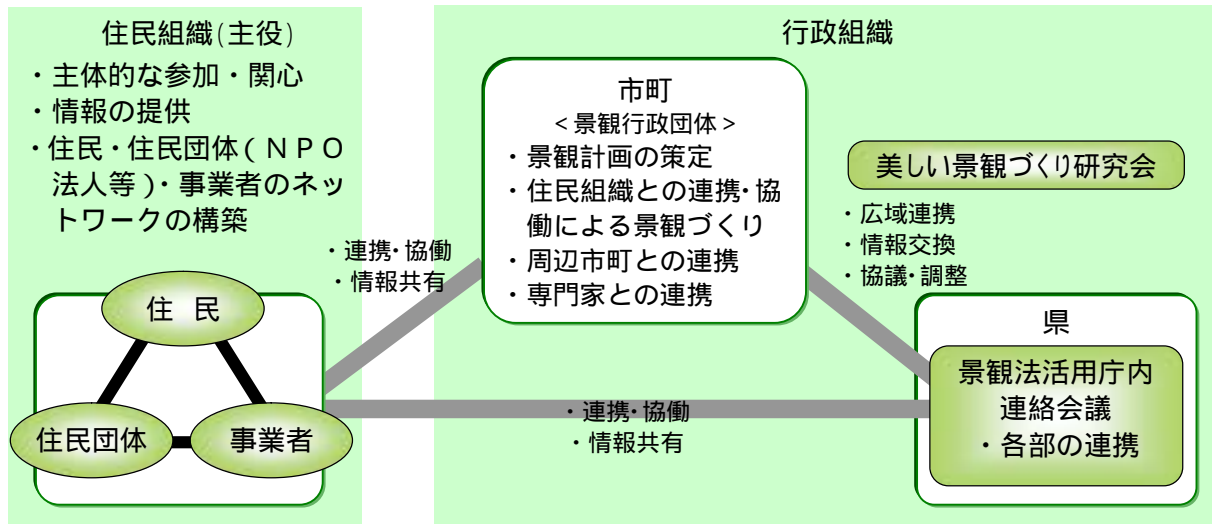
- ・市町の行政区域を越えた香川らしい景観やみどりなどの広がりのある景観について、広域的な観点から香川県としての景観の特質や取り組む方向性を示したうえで、市町と連携し、景観形成への取組みを推進する。
- ・香川県全体の景観意識の醸成を図り、市町の積極的な景観への取組みを促進し、景観計画の策定を支援するとともに、市町間の景観計画や関連施策の調整を行う。
- ・公共施設の設置者・管理者として、地域住民や民間事業者の景観形成の意識を高め、自主的な活動につながるよう、景観に配慮した施設整備の促進に努める。

まもる	<ul style="list-style-type: none"> ・みどり豊かでうるおいのある県土づくり条例による自然・環境保全 ・公共事業の自然や生態系への配慮 	など
ととのえる	<ul style="list-style-type: none"> ・計画的な土地利用の誘導 ・市町間の景観計画や景観関連施策の調整 	など
そだてる	<ul style="list-style-type: none"> ・景観づくり活動の紹介 ・地域における景観・環境美化活動への支援 ・建築関係団体を通じた普及啓発 ・広報誌やホームページによる普及啓発 	など
つくる	<ul style="list-style-type: none"> ・景観に配慮した公共施設整備 	など

(2) 推進のための組織体制

住民、事業者、市町・県が、連携・協働して組織体制を構築し、景観づくりを推進します。

組織体制図



住民組織

住民・住民団体・事業者に対する景観づくりの啓発的な活動とともに、特定の地域や活動がさまざまな主体と連携・協働していくための、情報提供やネットワークの構築を行いながら、地域の主役として積極的に景観づくりに取り組みます。景観の保全・整備能力を有するNPO法人等が景観整備機構として指定を受け、住民主体の景観づくりに取り組みます。

行政組織

市町

景観行政団体として良好な景観形成を図る主体となり、景観計画を策定し、周辺市町や専門家と連携を図りながら、住民とともに景観づくりに取り組むことが望めます。景観施策検討のための景観審議会や景観法に基づく景観協議会を立ち上げ、地域特有の景観づくりに取り組むことが望めます。

県

庁内の各部局の連携や各市町との広域的な連携と調整を行うなど、香川らしい特色ある景観づくりの実現のための支援を行います。

<景観法活用庁内連絡会議>

まちづくり、観光、産業、環境などのまち全体のさまざまな政策を考慮して、庁内の連携を強化するとともに、市町との協議・調整を行うなど、一元的に景観形成に取り組めます。

市町と県の連携

<美しい景観づくり研究会>

市町の景観形成の意識の高揚や景観行政に関する連携・調整、情報交換の場として研究会を位置づけ、広域的な連携を図ります。

第6章 景観づくりの進め方

良好な景観づくりの進め方を、「計画による景観づくり」「住民主体の景観づくり」「事業による景観づくり」の3つの例で示します。

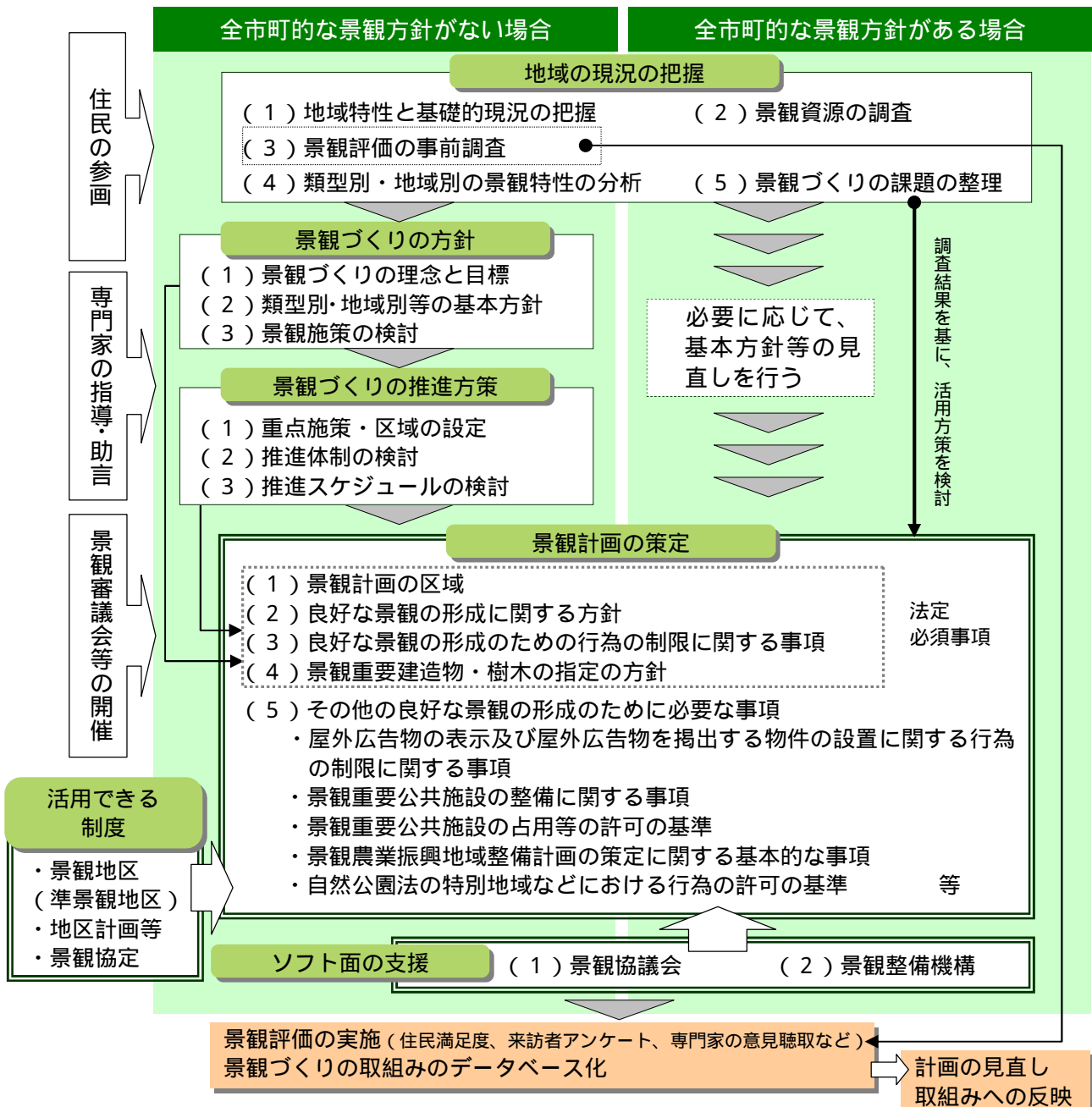
1. 計画による景観づくり

(1) 景観計画策定

県や周辺市町との連携と調和により、地域独自の景観計画を策定することに努める

市町は、地域特有の景観資源を活用しながら、計画的な景観行政に取り組み、景観行政団体となった後は、関係機関との協議を行い総合的な景観づくりの方針を定め、速やかに景観計画を策定することが望まれます。

景観計画策定の手順



(2) ソフト面の支援について

景観協議会は、行政、住民、公共施設管理者が互いに協議してルールづくりを行っていく組織です。また、景観整備機構は、地域住民等を含めた民間活力により、景観行政団体と役割を分担しながら、ともに良好な景観形成の推進を図るための組織として重要です。

景観協議会（景観法第15条）

景観行政団体等は、関係団体や住民などを加えて、景観計画区域内における良好な景観の形成を図るために必要な協議を行うため、景観協議会を組織することができ、様々な団体が連携する組織として活用することが望まれます。

景観協議会の構成

組織できる者

景観行政団体、景観重要公共施設の管理者、景観整備機構

必要と認めるときに加えることができる者

関係行政機関、観光関係団体、商工関係団体、農林漁業団体、電気事業、電気通信事業、鉄道事業等の公益事業を営む者、住民など

景観整備機構（景観法第92条～96条）

景観行政団体の長は、民間団体や住民による自発的な景観の保全・整備の一層の推進を図る観点から、一定の景観の保全・整備能力を有する公益法人やNPO法人を景観整備機構に指定することができ、積極的に活用することが望まれます。

景観整備機構の業務

良好な景観の形成に関する業務を行う者に対し、当該事業に関する知識を有する者の派遣、情報の提供、相談などの援助を行うこと

管理協定に基づき景観重要建造物又は景観重要樹木の管理を行うこと

景観重要建造物と一体となって良好な景観を形成する公共施設に関する事業や景観重要公共施設に関する事業を行うこと、又はこれらの事業に参加すること

の事業に有効に利用できる土地で政令で定めるものの取得、管理及び譲渡を行うこと
景観農業振興地域整備計画の区域内の土地を景観農業振興地域整備計画に従って利用するため、委託に基づき農作業を行い、並びに当該土地についての権利を取得し、及びその土地の管理を行うこと

良好な景観の形成に関する調査研究を行うこと

そのほか、良好な景観の形成を促進するために必要な業務を行うこと

景観協定（景観法第81条～91条）

景観計画区域内の一団の土地の所有者等は、その全員の合意により、当該土地の区域における良好な景観の形成に関する協定を締結することができ、積極的に活用することが望まれます。

景観協定で定める事項

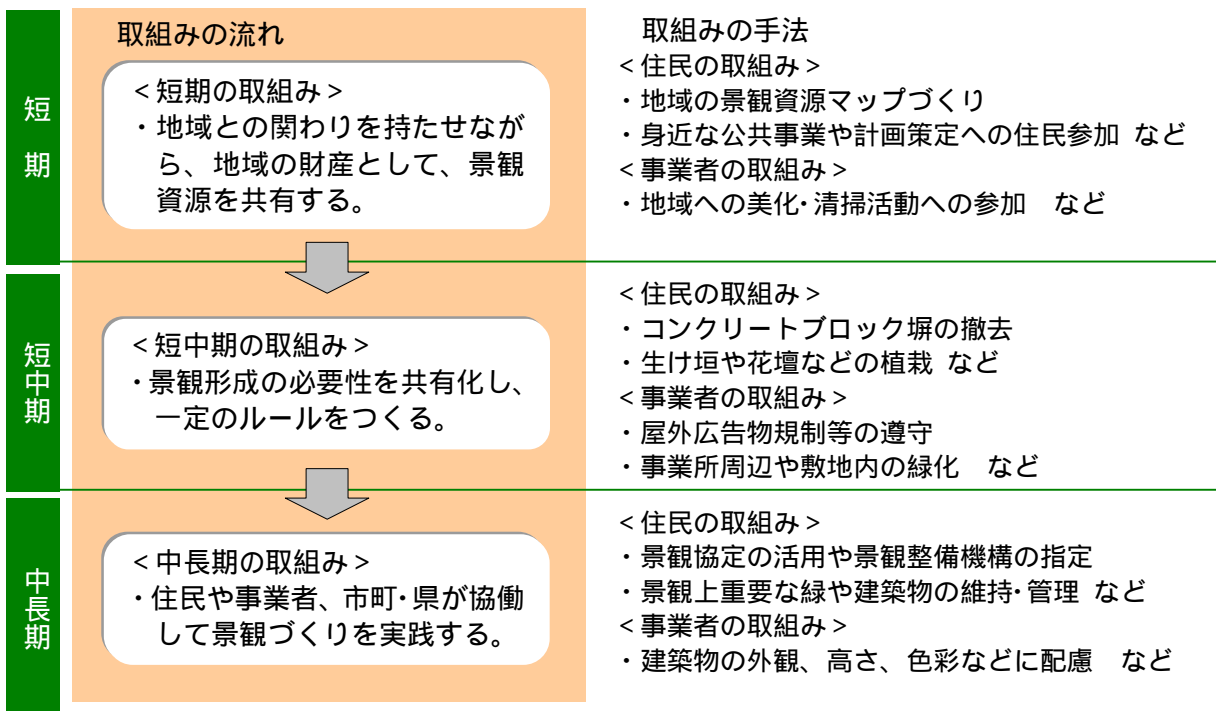
- 1．景観協定の目的となる土地の区域
- 2．良好な景観形成のための次に掲げる事項のうち必要なもの
 - 建築物の形態意匠に関する基準
 - 建築物の敷地、位置、規模、構造、用途又は建築設備に関する基準
 - 工作物の位置、規模、構造、用途又は形態意匠に関する基準
 - 樹林地、草地等の保全又は緑化に関する事項
 - 屋外広告物の表示又は屋外広告物を掲出する物件の設置に関する基準
 - 農用地の保全又は利用に関する事項
 - その他良好な景観の形成に関する事項
- 3．景観協定の有効期間
- 4．景観協定に違反した場合の措置

2. 住民主体の景観づくり

地域の住民や事業者が主役となり、市町との協働による景観づくりに努める

景観づくりを進めるには、地域住民が景観上重要な資源や空間の共有化を図ることが重要です。そのため、景観づくりに関する普及啓発から取り組み、将来的には、住民と事業者、市町・県が協働して、地域の景観資源を維持・管理していくことが望まれます。

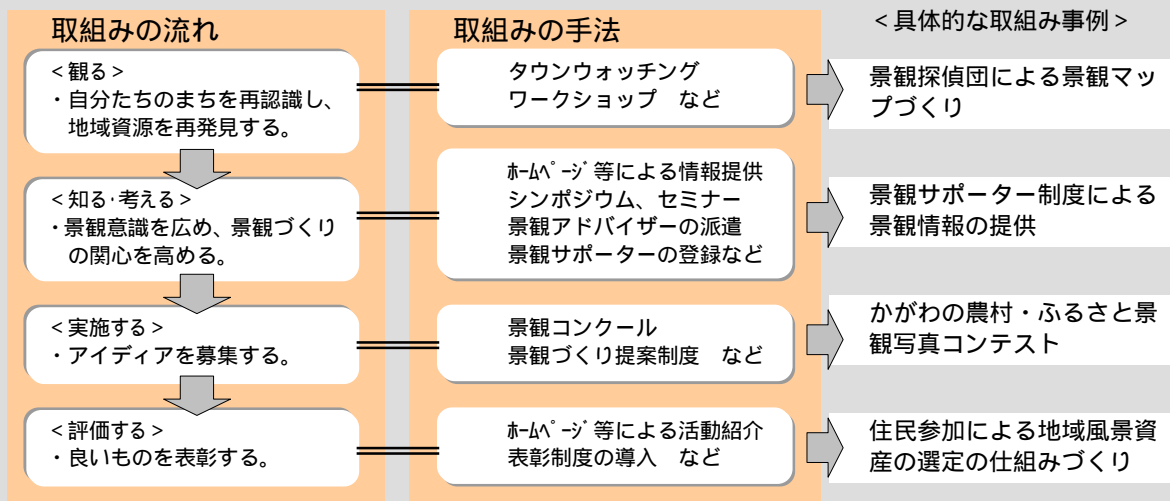
長期的な景観づくりの取り組み



< 景観づくりの普及啓発 >

美しい景観づくりの初期段階として、住民の景観に対する意識を高めることが必要です。

市町や関係機関が協力して住民や事業者が参加しやすいことから取り組み、景観づくりの普及啓発を行いながら、景観意識の醸成と景観づくりの人材育成を図ることが望まれます。



3. 事業による景観づくり

地域の歴史・風土や自然を活かし、地域の周辺環境に配慮した事業実施に努める

公共空間・公共施設は多くの人に利用され、また、地域の景観に与える影響も大きいことから、美しい景観づくりに十分配慮した整備を行うことが必要です。

美しい景観づくりの統一した考えのもと、構想段階、計画段階、設計段階の事業実施前から事業完了後までの各段階において、景観形成に配慮した取組みが望まれます。

事業による景観づくりの流れ

事業実施前（構想・計画段階）の配慮事項

- ・地域の景観特性や取組み、地域の目標を十分に把握し、事業の景観形成の考え方を検討
- ・早期の段階から、住民の参画や情報提供を行い、地域住民や地権者との合意形成を図る

事業実施に当たっての配慮事項

< 公共建築物 >

- ・周辺と調和した形状及び意匠、色彩、材質などの詳細な事項を検討
- ・敷地内の緑化など、安らぎと潤いのある公共空間を創出

< 道路 >

- ・まちの変遷や地域の歴史・文化を十分に踏まえた道路設計
- ・無電柱化や周辺環境と調和した植栽の確保など、快適な道路空間を創出

< 河川 >

- ・水辺や植生などの自然環境の活用と、色彩や材質等に十分に配慮した整備

< 公園・緑地 >

- ・周辺の自然環境の活用とともに、樹木の成長等による景観の変化に配慮
- ・良好な景観の構成要素として維持、継承されるように、地域住民を交えた計画の調整

< 海岸・港湾 >

- ・埋立てなどの人工的な造成を極力抑制し、水と緑の親水空間を保全・創出

事業実施後の配慮事項

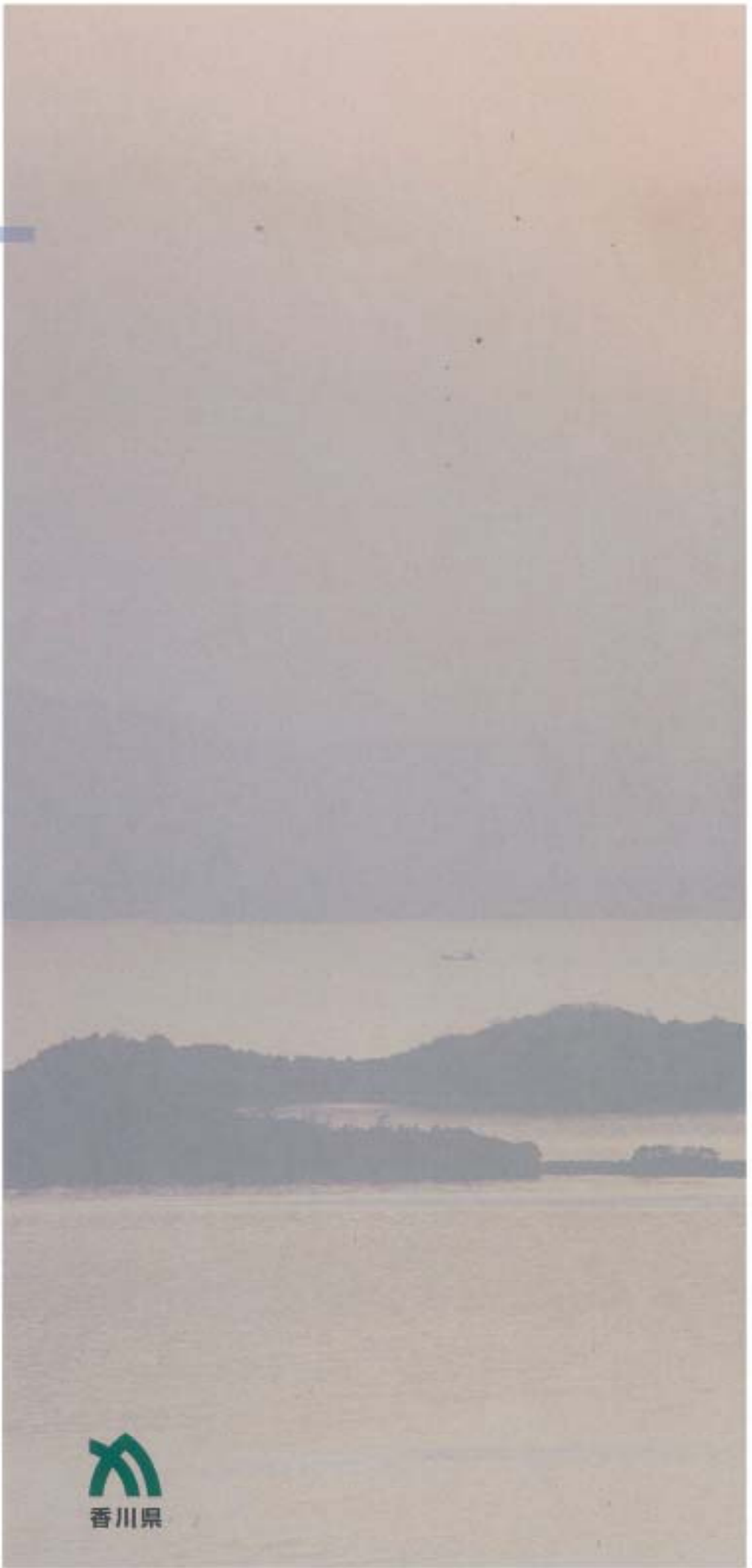
- ・景観形成の方針、設計・施工意図等を十分に踏まえた適切な管理
- ・地域の共有財産としての位置づけ（景観重要公共施設）
- ・景観形成の方針、設計・施工意図等情報をデータベースとして管理、公開

美しい香川づくり

香川県景観形成指針

平成 19 年 3 月

香川県土木部都市計画課
〒760-8570 高松市番町4丁目1番10号
TEL (087) 832 - 3557



R100 
この印刷物は、古紙配合率100%再生紙と、
環境にやさしい大豆インクを使用しています。


香川県